

現場説明書（技術的事項）

工事名 一ツ樋ポンプ場上家新築機械設備工事

1. 現場の状況

- ・ 工事場所は、既設一ツ樋ポンプ場の隣地です。
- ・ 一ツ樋ポンプ場は雨水排水施設であり、降雨に伴うポンプ稼働時以外は無人の施設です。

2. 別途工事、業務

- ・ 一ツ樋ポンプ場上家新築工事
- ・ 一ツ樋ポンプ場上家新築電気設備工事
- ・ 一ツ樋ポンプ場上家新築工事監理業務委託

3. 留意事項

- ① 工事場所では、別途工事の建築工事、建築電気設備工事が施工されます。工事にあたり施工計画、工程計画について、施工順序など近接する作業場として工事全般にわたり、相互に協力・調整を図りながら、工事の施工に努めてください。
- ② 本工事受注者は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。
- ③ 現場代理人及び主任技術者については、契約約款、建設業法等に違反とならないよう適切に配置し、当該工事の施工管理を行ってください。
- ④ 本工事は建設リサイクル法対象工事に該当しませんが、特定建設資材の再資源化に努めると共に建設副産物入力システム（COBRIS）の計画・実施報告書を提出してください。
- ⑤ 契約後、14 日以内に実施工程表を提出し、監督員の承諾を受けてください。
- ⑥ 工事の施工上、官公署への手続きが必要な場合は、受注者の責任において速やかに行ってください。
- ⑦ 工事で既存工作物等に損傷を与えないように対策を講じてください。

4. その他

① 法定外の労災保険の付保について

本工事は、法定外の労災保険を見込んでいます。

② 現場表示板について

「第 20 回世界パラ会議福山大会 2025」が、2025 年（令和 7 年）5 月 18 日から 24 日まで開催されます。大会の周知と機運醸成を図るため、現場標示板等へ大会ロゴを表示する

ことについて、ご協力をお願いします。

- ・使用するロゴは「第20回世界パラ会議福山大会 2025 ロゴ利用規程」に沿ったものとし、下記【使用例】の指定（使用デザイン1 又は使用デザイン2）のいずれかのデザインとする。
- ・「第20回世界パラ会議福山大会 2025 ロゴ利用規程」に定められた利用に関する申請等は発注者が行う。
- ・大会ロゴの利用については、「世界パラ会議福山大会ロゴ利用に関する手引き」及び「大会ロゴデザインガイド」を遵守すること。
- ・大会ロゴの表示については任意事項とし、表示に必要な経費は工事費に計上しない。
- ・大会ロゴの利用期限は、2025年（令和7年）5月24日とする。
（デザインデータに関することは、福山市上下水道局経営管理部管財契約課へ問い合わせてください。）

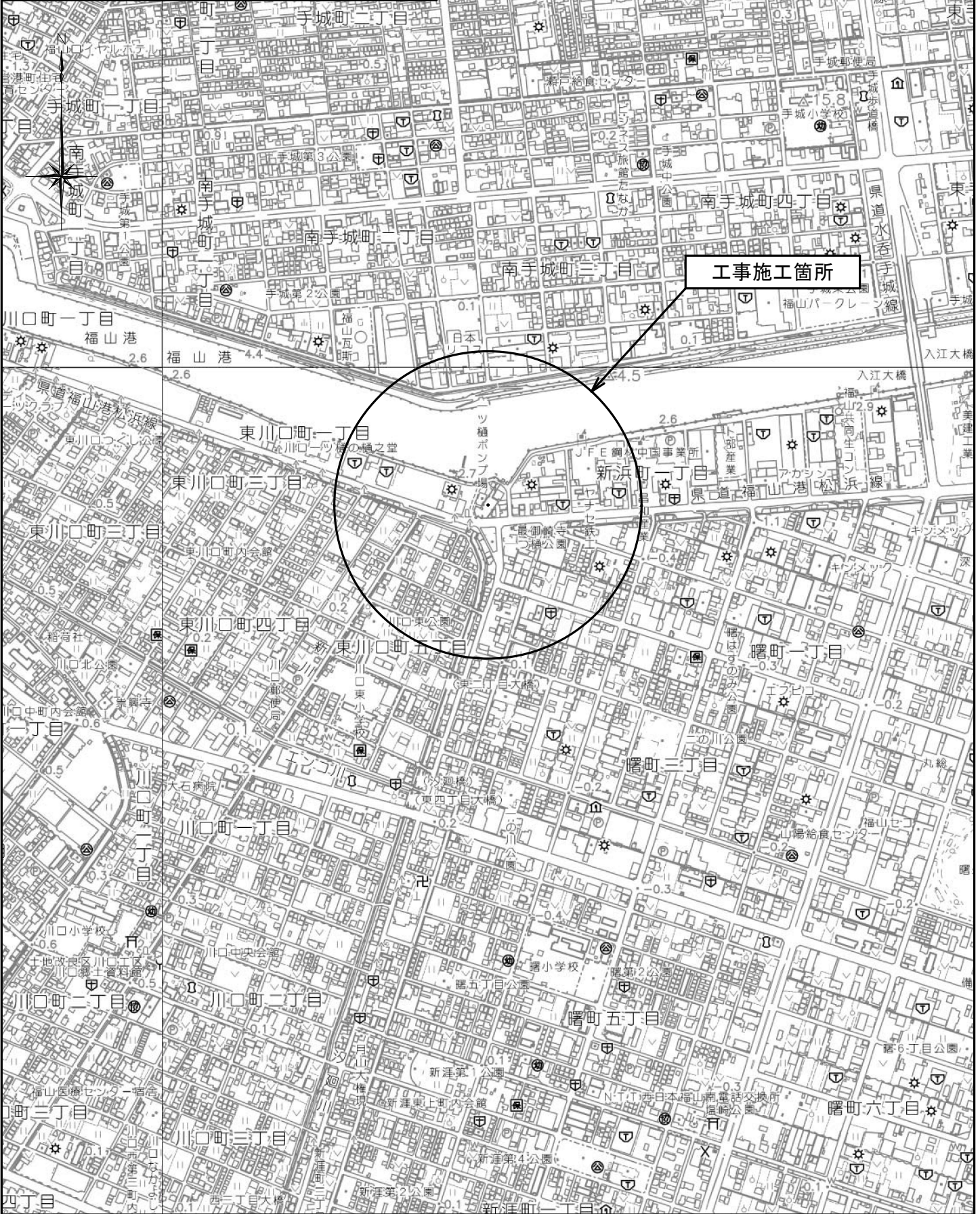
【使用例】



③疑義が生じた場合は、監督員と協議すること。

図面番号		縮 尺	S=1:10,000
工 種	一ツ樋ポンプ場上家新築機械設備工事		
種 別	位置図	番号	
路 線 名	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
工事場所			

福山市上下水道局



一ツ樋ポンプ場上家新築機械設備工事

福山市上下水道局施設部施設整備課

福山市上下水道局

令和6年度 下水道事業

工事名称 一ツ樋ポンプ場上新築機械設備工事

工事場所 福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内

図面番号 AM-01/21 縮尺 -

機械設備工事特記仕様書（1）

設計年月 2025年2月

Ⅰ. 工事概要

※ 本工事の工期には、工事検査期間として14日を含んでいる。

※ 契約締結後14日以内に実施工程表を提出するものとする。

※ 本工事は、法定外の労災保険を見込んでいる。

1. 工事名称 一ツ樋ポンプ場上新築機械設備工事

2. 工事場所 福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内

3. 建物概要

建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積（㎡）	消防法施行令別表第一の区分	備考
一ツ樋ポンプ場	RC造	地上2階	445.42	15項	

4. 工事項目（○印の付いたものを適用する）

建物別及び屋外	工事種別	場内
工事種目	ポンプ場	
○ 空気調和設備	一式	
○ 換気設備	一式	
・ 排煙設備		
・ 自動制御設備		
○ 衛生器具設備	一式	
○ 給水設備	一式	一式
○ 排水設備	一式	一式
○ 給湯設備	一式	
・ 消火設備		
・ ガス設備		
・ 特殊ガス設備		
・ 厨房器具設備		
・ 浄化槽設備		
・ プール設備		

5. 指定部分 ※ なし ・ あり(工期:～平成 年 月 日)

対象部分: (改修工事の場合の部分使用 ※ あり ・ なし)

6. 設備概要（改修工事の場合は既存の概要を示す。）

空気調和方式	○ 空気調和（ ・ 単一ダクト方式 ・ 各階ユニット方式 ○ バックジ方式 ・ ファンコイルユニット ・ ダクト併用方式 ・ ガスエンジンヒートポンプ方式）
主要熱源機器	・ 鋼製ボイラー ・ 鉄鋼製ボイラー ・ 温水発生機（ ・ 真空式 ・ 無圧式） ・ チリングユニット ・ 小型吸収冷温水機 ・ 吸収冷温水機ユニット ・ 空気熱源ヒートポンプユニット ○ バックジ形空気調和機 ・ マルチパッケージ形空気調和機 ・ ガスエンジンヒートポンプ方式
換気設備	○ 1種換気 ・ 2種換気 ○ 3種換気
排煙設備	・ 機械排煙（ ・ 有り ・ 無し） 適用法規（ ・ 基準法 ・ 消防法）
自動制御設備	・ 自動制御方式（ ・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式）
給水源	○ 上水道 ・ 井水
給水方式	○ 水道直結方式 ・ 高架水槽方式 ・ ポンプ直送方式 ・ 増圧給水方式 ・ 受水槽加圧方式
排水方式	○ 自然流下 ・ ポンプ排水（ ・ 汚物 ・ 汚水 ・ 雑排水 ・ ）
放流先	○ 直放流下水管（ ・ 合流式 ○ 分流式） ・ 浄化槽 ・ 雑排水 ○ 直放流下水管（ ・ 合流式 ○ 分流式） ・ 浄化槽 ・ 倒灌 ・ 別途樹
給湯設備	・ 有り（ ・ 局所式 ・ 中央式） ・ 無し
消火設備	・ 屋内消火栓 ・ 連結給水管 ・ 屋外消火栓 ・ スプリンクラー ・ 消火器 ・ 連結放水装置 ・ フード等用簡易自動消火装置 ・ 粉末消火装置 ・ 消火器 ・ 不活性ガス消火（ ・ 窒素 ） ・ ハロゲン化物消火 ・ 無し
ガス設備	・ 都市ガス 種別（ ・ MJ/ Nm3） ・ 液化石油ガス
浄化槽設備	・ 有り（ ・ 単独処理 ・ 小規模合併処理 ・ 合併処理） ・ 無し

Ⅱ. 工事仕様

1. 共通仕様

（1）図面及び特記事項に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁官営情報部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年版）」（ただし改修工事の場合は「公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（以下「標準仕様書」という）及び「公共建築工事標準図（機械設備工事編）（令和4年版）」（以下「標準図」という）による。

（2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

（3）標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法を明示している場合において、それらが関係法令等（条例含む）に抵触する場合は、関係法令等の遵守（1. 1. 14）を優先する。

（4）工事中及び竣工後、下記に示す調査を行うため、発注者より連絡があれば対応すること。
①公共事業労務費調査…工事中に実施（調査票等の記入提出、発注者の調査実施への協力等）
②完成施設事後調査（第1次調査）…引渡後概ね6ヵ月後
③完成施設事後調査（第2次調査）…引渡後概ね1年後
④かし担保調査…引渡後概ね1年

項目	内容
1. 取扱	本仕様書は、標準仕様書の一般共通事項の補足及び、追加項目をとりまとめたものである。 設計図書の優先順位は次の順序とする。 ①特記仕様書（図面記載のものを含む） ②設計図面（標準図を含む） ③標準仕様書（令和4年版）
2. 優先順位	

総則

1. 取扱

2. 優先順位

3. 官公署その他への手続き等

4. 別契約の関係工事との協同

5. 法令に基づく検査

1. 工程表

2. 施工図等

3. 施工計画書

4. 工程報告

5. 工事実績情報の登録

6. その他

1. 工事中

2. 工事後

1. 完成引渡しまでの管理

1. 主要資材購入先名簿の届出

2. 機器の取扱い等

1. 完成時の提出書類等

（1）工事竣工図書引渡し書 A4版 1部
（2）完成図書（A4版） 1部
（3）諸官庁届出書類一覧表 1部
諸官庁届出書類（正） 手続書類、許可書（正）共 1部
（4）竣工図（原設計図修正（特記仕様書含む））・施工原因A2版 1部
（5）完成図面・施工図面二折製本 1部
（6）工事記録写真 A4版（工事記録写真カラーサービス版） 1部
（竣工写真カラーサービス版） 1部
（7）運転操作説明書 取扱説明書 A4版製本 1部
（8）CD-R（CADにより作成した完成図、施工図、工事写真） 1部
（9）工事管理図書 A4版 1部
（10）その他 監督員が指示する書類 1部

2. 工事に関する写真

（1）工程写真
工事の進行に伴い主要工程の写真（カラーサービス版）
（2）工事記録写真
地中、コンクリートその他建設中に埋設又は隠蔽され、完成後外部から検査又は確認することが困難な部分、各種試験状況、その他監督員の指示する箇所は写真（カラーサービス版）にまとめて提出する。
（3）竣工写真
主要機器の取付箇所、その他監督員の指示する箇所は写真（カラーサービス版）にまとめて提出する。

2. 特記仕様

1）区分は●を、項目は番号に○印の付いたものを適用する。
2）特記事項のうち選択する事項は○の付いたものを適用する。
ただし、○印のない場合は※印を適用する。 ○印 ○印の場合は両方を適用する。

区分	項目	特記事項
●	1. 電子納品	電子成果品を「広島県電子納品実施要領【営繕工事編】最新版」に基づき作成する。 （1）工事管理ファイル（2）完成図・施工図（3）完成写真 （4）保全に関する資料（協議）（5）発生材関係資料（協議） ※電子納品対象データは同要領に基づくが、変更がある場合は監督員との協議で決定する。
●	2. 工事中情報共有システム	（1）本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づき実施すること。 （2）本工事で使用する情報共有システムは次とする。 広島県工事中情報共有システム https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html （3）監督員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。 （4）受注者は、監督員又はサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。
○	3. 機材等	本工事に使用する材料・機材等は、設計図面に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に基づき策定された「広島県グリーン購入方針」に掲載されている品目については、他の特記事項及び図面表記の範囲内で、環境負荷を低減できる材料を優先的に選定するよう努めるものとする。 ※ 設けない ・ 設ける（ 号） m程度 本工事に必要な工事用電力、水などの費用は受注者の負担とする。 官公庁への諸手続きなどの費用は受注者の負担とする。
○	4. 監督員事務所	

5. 工事現場の表示

6. 工事用仮設物

7. 交通誘導員

8. 土工事

現場の見やすい位置に監督員が指示する次の表示板を設置する。
※ 工事名等の表示板（900mm×600mm）
・ 工事概要等の説明看板（900mm×600mm）
構内に作ることを ・ 出来る ・ 出来ない
_____作業期間、交通誘導員を_____（人／日）配置すること。
（1）埋戻し土は ・ 山砂の類
※ 根切り土の中の良質土（ヒューム管以外の管の周囲は山砂の類）
（2）建設発生土は
※ 場外指示の場所に処分 ○ 場外搬出適切処理
・ 場内指示の場所に敷き均し ・ 場内指示の場所に堆積
・ 当該工事に発生する建設発生土は、次の公の関与する理立地に搬出するものとする。 搬出場所
※ 当該工事に発生する発生土は、「建設発生土処分一覧表」に掲載されている施設にいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費受入費（平日の受入費用）の合計が、最も経済的になる建設リサイクルプラント又は建設発生土受入れ地（一時堆積も含む）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用は変更しない。なお、工事後明らかにになったやむを得ない事情により、上記の仕様により難しい場合は、監督員と協議するものとする。
引渡しを要するもの ※ 無し
・ 有り（ ・ 機器類 ・ 配管類 ）
特別管理産業廃棄物 ※ 無し ・ 有り（ ）
再生資源の利用を図るもの ※ 無し ・ 有り（ ）
（1）本工事で発生した建設廃棄物は、広島県（環境県民局）及び保健所設置政令市等（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設（許可対象とならない中間処理施設にあっては、廃棄物処理法に定められた基準に従った適正な施設）で処理すること。ただし、建設廃棄物が、破砕等（選別を含む）により、有用物となった場合、その用途に応じて適切に処理するものとする。（原則、県内処分）
（2）本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、前記（1）に掲げる施設のうち受入れ条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいく。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。
（3）本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税されるので、適正に処理すること。なお、本工事では、広島県産業廃棄物埋立税相当額を見込んでいる。
下記項目の総合調整を行い測定表を監督員に提出する。（ 1部）
・ 風量調整 ○ 水量調整 ○ 室内外空気の温度の測定
・ 騒音の測定 ・ 振動の測定 ・ 室内の気流及び塵埃の測定
・ 浄化槽の排水水質 ○ 飲料水の水質の測定（残塩）
測定箇所等は監督員との協議による。
・ 説明書（監督員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の取扱要領を記載した説明書等を作成する。）
・ 説明板（監督員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の系統図、取扱要領を記載した説明板を作成する。）
・ 配管施工（配管工事） ・ 冷凍、空気調和機器施工（冷凍空調機の据付け）
○ 熱絶縁施工（保温工事） ○ 建築板金施工（ダクトの製作及び取付け）
機器類は、図示する形状及び配管等の取付し位置により、特定製造者の特定の製品を指示、限定しない。
（1）電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された値以下とする。
（2）機器類の能力、容量等は原則として表示された値以上とする。
・ 給水引込負担金（加入金及び納付金等を含む） 円
・ 下水道等接続負担金（ ・ 本工事 ・ 別途 ） 円
・ （ ・ 本工事 ・ 別途 ） 円
（1）EMケーブルで規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとし、電線及びEMケーブルは標準仕様書第4編1. 5. 1表4. 1. 1による。
（2）電線の色別は、原則として標準仕様書（電気設備工事編）（令和4年版）による。
（3）合成樹脂製可換管を使用する場合は、P.F1重管とする。
（4）ケーブルの接続は湿気の無い壁内埋設とし、湿気の有る管内でのケーブル接続は基本として行わない。
※ 標準仕様書を採用するほか、下記の部分を除き原則塗装を行う。
埋設されるもの（ただし、防食塗装部分を除く） 亜鉛めっき以外の

1. 1. 説明板等

1. 2. 技能士の適用

1. 3. 図形表示

1. 4. 電気容量及び機器表示

1. 5. 負担金等（消費税抜き）

1. 6. 電線・電線管

1. 7. 塗装

亜鉛めっきされた金属電線管、鋼製架台及び支持金物類 樹脂コーティング等施したもので、常時隠ぺいされる部分 特殊な意匠的表面仕上げ処理を施した面 アルミニウム、ステンレス、銅、溶融アルミニウム-亜鉛鉄板、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面 カラー亜鉛鉄板面
○ 下記の設備室等の亜鉛メッキを施した配管、ダクト及び支持金物、ダクト構成部材の塗装は行わない。（配管ネジ接合部、鋼材類等の隠しめっき仕上げを除く）亜鉛めっきされたもので、常時隠ぺいされる部分
○ 機械室 ○ 電気室 ・ 倉庫、書庫 ○ PS、DS
標準仕様書によるほか下記を適用する。
（1）暖房熱源機器室内の配管の保温材で、ポリスチレンフォーム保温材とあるものは同じ施工種別のロックウールまたはグラスウール保温材を使用する。
（2）屋内露出の合成樹脂製カバーは（※カバー1・カバー2）とする。
（3）屋内露出（ ・ 機械室 ・ 書庫 ・ 倉庫 ・ 廊下 ）の配管、ダクトの保温は「屋内露出（一般居室、廊下）仕上げ」に替替える。
（4）断熱材被覆ダクトによる冷媒管の保温外装は
屋内露出 ○ 保温化粧ケース（※ 耐候処方樹脂製 ・ ）
・ 合成樹脂製カバー（※カバー1・カバー2）
屋外露出 ・ ステンレス鋼板巻き（冷媒管に断熱材被覆鋼管使用する時は整形用としてグラスウールを使用する。）
○ 保温化粧ケース（ ○ 耐候処方樹脂製 ・ アルミ合金製 ・ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製）
（5）共同溝の保温種別 ・ ・ ・
（6）全熱交換器用の 給気ダクト（ ○ 外気側 ・ 室内側）は保温（25mm厚）する。
排気ダクト（ ・ 外気側壁面より m）は保温（25mm厚）する。

1. 8. 保温

1. 9. 絶縁継手

2. 0. 防振継手

2. 1. 伸縮継手

2. 2. 弁類

2. 3. 埋設表示

2. 4. はつり工事

2. 5. 補修など

2. 6. 支持金物、固定金具

2. 7. 配管の建物導入部

2. 8. 管端防食継手

2. 9. 配管附属品

3. 0. ポンプの電動機

3. 1. 他工事との取合い

3. 2. 耐震措置

（7）厨房用（レンジフード含む）排気ダクトの断熱（隠蔽部）
※ h（1）区 ・ 行わない
標準図 施工3による。
※ 合成ゴム製（球形） ・ ペローズ製（ステンレス）
・ ポリテトラフルオロエチレン樹脂製
※ ペローズ形 ・ スリッパ形
（1）ステンレス管に使用するバルブは50A以下は青銅製、65A以上はステンレス製を使用する。
（2）給水、給湯に使用するバルブ、水栓類は鉛レスの鉛水質基準適合品を使用する。
標準仕様書によるほか図示の箇所に設ける。
・ 鉄製 ・ コンクリート製
屋外配管の埋戻し時は埋設表示テープを布設する。
既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
工事の施工に伴い既成部分を汚染または損傷した場合は、既成にならない補修する。
（1）ポップ及び壁設置機器のアンカーボルト、ナットはステンレス製（SUS304）とし、屋外の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス製（SUS304）又は、溶融亜鉛めっき仕上げとする。 溶融亜鉛めっきは（ ※ 2種35 ・ 2種50）
（2）ビット内使用する支持金物等はステンレス製（SUS304）とする。
（ ・ ○ 給水 ・ ガス ・ 油）配管の変位吸収は標準図 施工4、5とし設置場所は図示による。
コア内蔵型を使用する。
標準仕様書第2編第2章第2節による。
渦巻ポンプの機器表に特記無き電動機の極数は、4極以上とする。
○ 下記による 「工事区分表」による
（1）鉄筋コンクリート部の貫通箇所及び開口部の補強、その他壁、天井のボード切込み箇所の下地の補強は ・ 本工事 ・ 別途工事
（2）壁、天井のボード退出し ・ 本工事 ・ 別途工事
（3） ” 切込み ・ 本工事 ・ 別途工事
（4）コンクリート床、壁及び梁等における設備機器、ダクト、配管等の箱入れ及び貫通スリーブは ・ 本工事 ※ 別途工事
（5）機器類のコンクリート基礎
屋上設置のもの ・ 本工事 ※ 別途工事
屋内設置のもの ※ 本工事 ・ 別途工事
屋外設置のもの ※ 本工事 ・ 別途工事
（6）アンカーボルト ※ 本工事 ・ 別途工事
（7）オイルサービスタンク防油堤 ・ 本工事 ※ 別途工事
（8）外壁取付ガリヤ ・ 本工事 ※ 別途工事
（9）機器付属の制御盤及び操作盤以降の配線は ※ 本工事 ・ 別途工事
（10）別途盤類への渡り配線の接続は ※ 本工事 ※ 別途工事
（11）バックアップ空調機の連絡配管、配線（アース線共）
※ 本工事 ・ 別途工事
（12）温水器、湯沸器、その他器具のアース線（連絡配線）
※ 本工事 ・ 別途工事
（13）自動制御の電線管は ・ 本工事 ※ 別途工事
（14）自動制御の電線の配線は ・ 本工事 ※ 別途工事
（15）自動制御盤と自動制御機器との配線の接続は
・ 本工事 ※ 別途工事
（16）機器と付属の操作スイッチの渡りの配管は ・ 本工事 ※ 別途工事
（17） ” 配線は ※ 本工事 ※ 別途工事
（18）屋内、屋外雨水管 ・ 本工事 ※ 別途工事
耐震措置の計算及び施工方法は次によるほか、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。
（1）機器の据付け及び取付け
設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に、地域係数 ※1.0 ・ 0.9 ・ 0.8とし、次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。
設計用標準水平震度
設置場所 機器種別 重要機器 一般機器 重要機器 一般機器
上層階 機 器 2.0 1.5 1.5 1.0
防振支持の機器 2.0 2.0 2.0 1.5
屋上及び塔屋 水 槽 類 2.0 1.5 1.5 1.0
機 器 1.5 1.0 1.0 0.6
中間階 防振支持の機器 1.5 1.5 1.5 1.0
水 槽 類 1.5 1.0 1.0 0.6
機 器 1.0 0.6 0.6 0.4
地下及び1階 防振支持の機器 1.0 1.0 1.0 0.6
水 槽 類 1.5 1.0 1.0 0.6
上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。
重要機器は次のものを示す。
・ 給水機器（ ・ ）
・ 換気機器 ・ 空調機器 ・ 熱源機器 ・ 防災機器 ・ 監視制御設備
・ 危険物貯蔵装置 ・ 火を使用する設備 ・ 避難経路上に設置する機器
（2）設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1/2とする。
・ ガス配管 ・ 冷却水配管
非破壊検査の適用 ※ 無し
・ 有り（ ・ 放射線透過検査 ・ 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査）
抜取り率は ・ 標準仕様書による
撤去する配管、ダクトの保温は取外す。
75su以上の継手は ・ 溶接接合 ・ ハウジング形管継手接合
接合方法
・ フランジ接合
排水用塩化ビニル管鋼管の土中埋設部は防食処理を行う。
（ ）書きの室名は天井無しを示し、その他は天井ありを示す。
当該工事に使用する砂については、原則として海砂（県外産含む）を使用しないこと。ただし、特にこの取扱により難しい場合は、別途、監督員と協議すること。
本工事で設置する ・ 内側足場（ ・ E種 ・ F種 ・ G種）
・ 外側足場（ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ F種）
現場説明書による。
・ 小口怪刺、弁ボックス、散水栓ボックス等はコンクリート巻上げ仕上げとする。（但し舗装等の仕上げ部分は除く。）（施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。）
・ 水栓は断水コマ付きを採用する。
・ 水栓ハンドルは極力レバー式を採用する。
本工事の施工に当たり、東洋ゴム化工品（株）で製造された製品や材料を用いる場合には、使用するまでに第三者機関による品質を証明する書類を提出すること。
不燃材料以外の配管が防火区画等を貫通する場合は、建築基準法に適合する工法とする。

3. 3. 溶接配管の検査

3. 4. 撤去工事

3. 5. ステンレス鋼管

3. 6. 鋼管類の防食処理

3. 7. 天井仕区分

3. 8. 砂の取扱

3. 9. 足場

4. 0. 施工条件

4. 1. その他

4. 2. 防振ゴム等の製造検査

4. 3. 貫通部の処理

福山市上下水道局

令和6年度

下水道事業

工事名称

一ツ樋ポンプ場上新築機械設備工事

工事場所

福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目内

図面番号

AM-02/21

縮尺

—

機械設備工事特記仕様書（2）

設計年月 2025年2月

注 1）区分は、●を、項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2）特記事項のうち選択する事項は ○ の付いたものを適用する。ただし、○ 印のない場合は※印を適用する。○ 印 ⊗ 印の場合は両方を適用する。

衛生設備		
区分	項目	特記事項
●衛生器具設備	① 大便器・小便器 2. 小便器用洗浄水節水装置 3. 自動水栓 4. 和風大便器の耐火処理 ⑤ 衛生器具と排水管接続	陶製注意板は ・ 取付ける（ ・ 自動洗浄小便器は除く） ○ 取付けない ※ 個別感知方式（電源供給方式 ※ AC100V ・ 乾電池 ・ 流水発電形） 工事範囲は、電気一次側配管配線を除きすべて本工事とする。 電源供給方式 ※ AC100V ・ 乾電池 ・ 流水発電形 標準図（施工66(b)）の ※ (2) ・ (1) ※ 標準図（施行64） ・ 標準図（施行65）
	1. 量水器 2. 量水器柵 ③ 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	(1) 親メーター ※ 借用 ・ 買取り (2) 子メーター ※ 買取り ・ 借用 (1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図（機材57） (2) 子メーター用 ※ 標準図（機材57） ・ 水道事業者の指定品 (1) 一般配管用 ・ 塩ビライニング鋼管（SGP-VB）（SGP-FVB） ・ ポリ粉体鋼管（SGP-PA）（SGP-FPA） ・ ステンレス鋼管（SUS304） ・ ステンレス鋼管（SUS316） ○ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP） ・ (2) 土間配管用 ・ 塩ビライニング鋼管（SGP-VD）（SGP-FVD） ・ ポリ粉体鋼管（SGP-PD）（SGP-FPD） ・ ステンレス鋼管（SUS304） ・ ステンレス鋼管（SUS316） ○ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP） ・ (3) 屋外土中用 ※ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP） ・ 塩ビライニング鋼管（SGP-VD）（SGP-FVD） ・ ポリ粉体鋼管（SGP-PD）（SGP-FPD） ・ 水道用ポリエチレン二層管（50A以下）、水道用ポリエチレン管（75～150A） ・ ステンレス鋼管（SUS304） ・ ステンレス鋼管（SUS316） ・ (4) ビニル管の接合方法 ※ 接着接合 ・ ゴム輪接合 (5) ポリエチレン管の接合方法 50A以下 ・ 融着継手 ・ 金属製継手 75A以上融着継手 (6) ゴム輪接合の場合、直管以外の継手部には離脱防止金具付とする。 (7) 特記なき給水管の最小口径は20Aとする。 (8) ステンレス鋼管を使用する場合は下記の水質の確認を行う。 電気伝導率、Mアルカリ度、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、全硬度、重炭酸イオン、遊離炭酸、塩素イオン、シリカ、蒸発残留物 (1) 公営水道に直結する配管に使用するものは、JIS又はJV（10K）とする。 (2) 高置タンク以降の配管に使用するものは、JIS又はJV（5K）とする。ただし、特記部分は（10K）とする。 (3) 給水引込み部の ・ 止水栓 ・ 弁柵 は水道事業者の指定品とする。 共通仕様書による。 ・ 共通仕様書による（附属品を含む） ・ 水道事業者指定品 ※ 合成樹脂製 ・ 人造石とぎ出し製 ・ アルミニウム合金製 (1) 屋外の水栓は ・ キーハンドル ・ 一般水栓 (2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。 FRP製及びステンレス製水槽（保温形）は、マンホールも保温形とする。
●給水設備	④ 弁類	1. 公営水道に直結する配管に使用するものは、JIS又はJV（10K）とする。 (2) 高置タンク以降の配管に使用するものは、JIS又はJV（5K）とする。ただし、特記部分は（10K）とする。 (3) 給水引込み部の ・ 止水栓 ・ 弁柵 は水道事業者の指定品とする。 共通仕様書による。 ・ 共通仕様書による（附属品を含む） ・ 水道事業者指定品 ※ 合成樹脂製 ・ 人造石とぎ出し製 ・ アルミニウム合金製 (1) 屋外の水栓は ・ キーハンドル ・ 一般水栓 (2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。 FRP製及びステンレス製水槽（保温形）は、マンホールも保温形とする。
	⑤ 保温 6. 定水位調整弁 7. 水栓柱 ⑧ 水栓 9. FRP製タンクのマンホール	(1) 屋内汚水管 ※ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ 耐火二層硬質塩化ビニル管（VP）（第1樹まで含む） ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ 鉛管 ・ コーティング鋼管（ ・ ノンタルエポキシ ・ 塩化ビニル） ・ 建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管（RF-VP） ・ (2) 屋内雑排水管 ※ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ 耐火二層硬質塩化ビニル管（VP）（第1樹まで含む） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 鉛管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ コーティング鋼管（ ・ ノンタルエポキシ ・ 塩化ビニル） ・ 建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管（RF-VP） ・ 水配管用亜鉛メッキ鋼管（SGPW） (3) 通気管 ※ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ 耐火二層硬質塩化ビニル管（VP） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ 建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管（RF-VP） ・ 水配管用亜鉛メッキ鋼管（SGPW） (4) 屋外排水管 ※ 硬質塩化ビニル管（VU） ・ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ コンクリート管（外圧1種B形） ・ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP） ・ 排水用リサイクル硬質塩化ビニル管（REP-VU） ・ 下水道用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管（RS-VU） ・ ※ 工場製作品（ ※ SUS製 ・ 鋳鉄製 ・ FRP製） ・ 現場施工品 ・ 耐火被覆 ・ 標準図（施工66(a)）を施工する。 ・ 施工しない
●排水設備	① 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	(1) 屋内汚水管 ※ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ 耐火二層硬質塩化ビニル管（VP）（第1樹まで含む） ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ 鉛管 ・ コーティング鋼管（ ・ ノンタルエポキシ ・ 塩化ビニル） ・ 建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管（RF-VP） ・ (2) 屋内雑排水管 ※ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ 耐火二層硬質塩化ビニル管（VP）（第1樹まで含む） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 鉛管 ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ コーティング鋼管（ ・ ノンタルエポキシ ・ 塩化ビニル） ・ 建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管（RF-VP） ・ 水配管用亜鉛メッキ鋼管（SGPW） (3) 通気管 ※ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ 耐火二層硬質塩化ビニル管（VP） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 排水用塩ビライニング鋼管 ・ 建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管（RF-VP） ・ 水配管用亜鉛メッキ鋼管（SGPW） (4) 屋外排水管 ※ 硬質塩化ビニル管（VU） ・ 硬質塩化ビニル管（VP） ・ コンクリート管（外圧1種B形） ・ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP） ・ 排水用リサイクル硬質塩化ビニル管（REP-VU） ・ 下水道用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管（RS-VU） ・ ※ 工場製作品（ ※ SUS製 ・ 鋳鉄製 ・ FRP製） ・ 現場施工品 ・ 耐火被覆 ・ 標準図（施工66(a)）を施工する。 ・ 施工しない

○ガス設備	1. 配管材料 2. 液化石油ガス容器 3. ガスメーター	(1) 一般配管用 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ (2) 一般配管（ピット内） ※ 合成樹脂被覆鋼管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） (3) 土間配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ・ ガス用ポリエチレン管（JIS-K6774） (4) 屋外土中配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ・ ガス用ポリエチレン管（JIS-K6774） ・ 10Kg ・ 20Kg ・ 50Kg ・ 本 ※ 借用 ・ 買取 (1) 親メーターは ・ ガス事業者より借用 ・ 買取 (2) メーターは ※ 買取り ・ ガス事業者より借用 (3) メーターの計量方式は ※ 直読 ・ 遠隔表示 自動切替式で施工方法は標準図（施工72）の ・ (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図（施工73）の ・ (a) ・ (b) ※ 要（取付位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要） ・ 不要 警報器から制御器、遮断弁（又はマイコンメーター端子）までの電線管は ・ 別途電気工事 ・ 本工事 ・ 流量検知式（切替形又は圧力監視形） ・ 圧力検知式 ビニール被覆支持金物、又は配管クランプ部を電食防止テープ巻き 都市ガスはガス供給事業者の供給約款による。
	1. 配管材料 2. 弁類 3. 保温	※ 保温付き被覆鋼管 ・ 鋼管 ・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ ステンレス鋼管 ※ 湯沸器、給湯器回りの付属配管等は製造業者標準品とする。 ※ JIS又はJV（5K）とする。ただし、水道直結部分及び特記部分は（10K）とする。 湯沸器の給排気筒の隠ぺい箇所は保温を行う。 h（イ）Ⅸ
○給湯設備	1. 配管材料 2. 弁類 3. 保温	※ 保温付き被覆鋼管 ・ 鋼管 ・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ ステンレス鋼管 ※ 湯沸器、給湯器回りの付属配管等は製造業者標準品とする。 ※ JIS又はJV（5K）とする。ただし、水道直結部分及び特記部分は（10K）とする。 湯沸器の給排気筒の隠ぺい箇所は保温を行う。 h（イ）Ⅸ
○オイル設備		・ 別図内容で整備を行う。
	1. 処理種別及び方式 2. 形式 3. 処理能力 4. 放流水質 5. 埋戻し土 6. 消毒薬 7. その他	・ 小規模合併処理（ ※ 担体流動方式 ・ 嫌気床接触ばっ気方式 ・ 脱窒ろ床接触ばっ気方式 ・ 分離接触ばっ気方式 ） ・ 合併処理（ ・ 接触ばっ気方式 ・ 長時間ばっ気方式 ・ 回転床接触方式 ） ※ ユニット形 ・ 現場施工形 処理対象人員 5 人 処理水量 m ³ /d 流入BOD濃度 mg/l _{BOD} BOD ・ 60 ・ 30 ・ 20 ・ 10 mg/l _{BOD} 以下 ・ mg/l _{BOD} 以下 ※ 埋戻し土の中の良質土（FRP槽周囲は山砂の類） ・ 購入土 3ヶ月分相当を納入する。 性能責任施工とする。 竣工後6ヶ月間流入、放流のSS、BOD、PH、透視度、大腸菌個数等を（※報告する。・報告しない。）
○浄化槽設備	1. 処理種別及び方式 2. 形式 3. 処理能力 4. 放流水質 5. 埋戻し土 6. 消毒薬 7. その他	・ 小規模合併処理（ ※ 担体流動方式 ・ 嫌気床接触ばっ気方式 ・ 脱窒ろ床接触ばっ気方式 ・ 分離接触ばっ気方式 ） ・ 合併処理（ ・ 接触ばっ気方式 ・ 長時間ばっ気方式 ・ 回転床接触方式 ） ※ ユニット形 ・ 現場施工形 処理対象人員 5 人 処理水量 m ³ /d 流入BOD濃度 mg/l _{BOD} BOD ・ 60 ・ 30 ・ 20 ・ 10 mg/l _{BOD} 以下 ・ mg/l _{BOD} 以下 ※ 埋戻し土の中の良質土（FRP槽周囲は山砂の類） ・ 購入土 3ヶ月分相当を納入する。 性能責任施工とする。 竣工後6ヶ月間流入、放流のSS、BOD、PH、透視度、大腸菌個数等を（※報告する。・報告しない。）

空気調和設備

区分

項目

特記事項

事項

●空気調和設備

①設計用温湿度条件

外気条件		室内（調整目標値）				
		一般系統		電気室系統		
温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	
夏季	35.2℃	51.0%	28.0℃	50.0%	30.0℃	50.0%
冬季	-0.2℃	69.9%	19.0℃	40.0%	19.0℃	40.0%

2.冷水・温水・冷温水管

③ドレン管

4.冷却水管

5.膨張・空気抜・補給水管

6.空調用給水管

7.蒸気給気管

8.蒸気還水管

9.油・油用通気管

⑩冷媒管

11.弁類

12.ファンコイルユニット

13.天井吊り形FCU及び全熱交換形換気扇

14.吹出口・吸込口

⑬ダクト

※配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ ステンレス鋼管（SUS304）
・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ※ 硬質塩化ビニル管（VP）
・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP）
・ 配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ 塩ビライニング鋼管 ・ ポリ粉体鋼管
※配管用炭素鋼鋼管（白管） ・ ステンレス鋼管（SUS304）
※ステンレス鋼管（SUS304） ・ 塩ビライニング鋼管 ・ ポリ粉体ライニング鋼管
※配管用炭素鋼鋼管（黒管）
※圧力配管用炭素鋼鋼管（STPG370 黒sch40）
※配管用炭素鋼鋼管（黒管）
※断熱材被覆鋼管 ・ 鋼管 ・
JIS又はJV（5K）とする。ただし、特記部分は（10K）とする。
※流量調節弁 ※冷温水管の接続部（往・還）にはボール弁を取り付ける。
・ 定流量弁（ ・ ダイアフラム式流量可変式 ・ カトリッジオリフィス形）を取付ける。
※床置形にはサブドレンパンを設けるものとし、材料等はドレンパンに準ずる。
(1)遠方操作スイッチのフラッシュプレートは金属製（ステンレス、新金属も含む）とする。
(2)遠方操作スイッチの渡り配管 ① 別途工事 ・ 本工事
(1)アルミニウム製は塗装を ※ 行う ・ 行わない ・ 鋼板製
(2)吸込口GVFSは防火シャッター付吸込口を示す。
(1)※低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト
(2)矩形ダクトは ・ アングルフランジ工法
※コーナーボルト工法（ ・ 共板工法 ・ スライドオンフランジ工法）
（ 厨房用ダクトはアングルフランジ工法とする。）
(3)防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1.6mm厚鋼板製とし、貫通部とダクトの隙間にモルタル又はロックウール保温材を充填する。
ロックウール保温材を施す場合は、脱漏防止を講ずる。
(4)厨房用ダクトの板厚
矩形ダクトの場合
(単位mm)

ダクトの長辺	ステンレス鋼板	亜鉛鉄板
450以下	0.5以上	0.6以上
450を超え1,200以下	0.6以上	0.8以上
1,200を超え1,800以下	0.8以上	1.0以上
1,800を超えるもの	0.8以上	1.2以上

円形ダクトの場合
(単位mm)

円形ダクトの寸法	ステンレス鋼板	亜鉛鉄板
300以下	0.5以上	0.6以上
300を超え750以下	0.5以上	0.6以上
750を超え1,000以下	0.6以上	0.8以上
1,000を超え1,250以下	0.8以上	1.0以上

●換気設備

●空気調和設備	⑬ ダンパー 17. 風量測定口 ⑬ チャンバー等 ⑬ 消音内貼り 20. グリス除去装置 21. 瞬間流量計及び流量測定口 22. 定風量、変風量ユニット 23. 温度計 24. 圧力計 25. 冷温水管等の空気抜き 26. 鋼板製煙道 ②7 防振吊り及び支持金物 28. オイルサービスタンク 29. 地下オイルタンク 30. 液面制御装置 31. 油積算流量計 32. フィルターの予備品 33. 水質基準 ②4 冷媒ガス 35. 直共吸収冷温水機 36. 冷却塔 ②7 パッケージ空調機の能力表示 ②8 パッケージ空調機の内外送配線 ②9 配管保温 ○ 1. 一般事項 2. ダクト 3. 排煙口 4. 計装工事の記録	(1) 防火ダンパーは表示等により区分する。 (2) 防煙ダンパー 復帰方式：遠隔復帰式（定格入力DC24V、0.7A以下とする。） (3) ピストンダンパー 復帰方式：遠隔式 取付け位置は図示による。 (1) 線状吹出口には、接続チャンバー（長さ+100×300×300H）を設ける。 (2) シーリングディフューザーの接続は標準図（施工47）による。 施工が困難な場合はフレキシブルダクトを使用してもよい。 (3) 外壁に面するガラリにチャンバー等を設置する場合には原則として排水を考慮する。 (1) 空調用吹出口接続チャンバー及び図示したダクト並びにチャンバー類とする。 (2) 内貼りチャンバー類の寸法は、外法寸法とする。 (3) 吹出口接続チャンバー以外の内貼りしたチャンバーには点検口を設ける。 点検口の大きさは、原則として400×600とする。 ・ グリスエクストラクター ・ グリスフィルター (1) 形式はビーター管（コック付）とする。 ※ 固定式 ・ 着脱式 (2) 下記の箇所、若しくは図示により取付ける ・ 冷凍機類の冷却水出口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング ・ 冷凍機類の冷却水出口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング ・ ボイラー又は熱交換器の温水出口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング ・ 冷温水ヘッダーの各送り管 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング ・ ユニット形空気調和機の冷温水入口 ・ 瞬間流量計 ・ 測定用タッピング ・ メカニカル形 ・ 風速センサー形 標準図によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。 ・ ユニット形空気調和機回りの送気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト 機器附属品以外の温度計は ※ 工業用バイメタル式温度計 ・ ガード付きL形温度計 標準図によるほか図示した箇所に取付ける。 (1) 空気溜りを生ずると思われる箇所には、必要に応じて操作の容易な位置に空気抜き弁装置（ ※ 手動 ・ 自動）を設け排水口まで配管する。 (2) 自動空気抜き弁装置は、標準図（施工36（g））による (1) 厚さ ※ 3.2mm ・ 4.5mm (2) 煤煙濃度計 ・ 取付ける ・ 取付けない ・ 取付座を取付ける (3) 煤煙量測定口（80φ×2）を ※ 取付ける ・ 取付けない 標準仕様書によるほか、中央機械室の冷却水管、冷温水管、及び空調屋内ユニット等の吊り、及び支持は防振吊り金物又は防振支持金物で行う。 油面計はゲージ式（側圧式）とする。 (1) 据付け方法（標準図）は ・ 地下オイルタンク据付け図（施工31） ・ 鋼製強化プラスチック製二重殻タンク据付け図（施工30） (2) 鋼板製タンクの保護被覆は ※ エポキシ樹脂 ・ 強化プラスチック (3) 遠隔油量指示装置（電気式で〔 ・ 室内 ・ 室外〕より油量監視用）を取付ける。 (4) 基礎杭は ※ 不要 ・ 要（但し杭は ※ 別途工事 ・ 本工事） (5) 土留め工事は ※ 不要 ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事） (1) 液面制御装置の機能は下記による。 ・ 給油ポンプの起動、停止 ・ 返油ポンプの起動停止 ・ 満油警報 ・ 減油警報 ・ 遠方警報接点（ ・ 満油 ・ 減油） (2) 返油ポンプのあるシステムでフロートスイッチの上限フロートは、通過形接点とする。 ※ 設ける（図示した箇所に取付ける） ・ 設けない 空気調和機器等又はフィルターチャンバーの装着枚数の100%を予備品（枠付）として納める。 ファンコイルユニットは総台数の約50%に当たるフィルターを予備品（枠付）として納める。 自動巻取り形及びグリースフィルターは装着単位の100%を予備品として納める。 空調用車の水質基準は、日本冷凍空調工業会（冷凍空調機器水質ガイドライン）による。 ※ R407C、R410A又はR32 ・ 形式 煙管式又は液管式 標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 製造業者の標準品とし、原則として冷媒管と共巻きとする。（エアコン含む） 保温化粧ケース（樹脂製） 空調、換気の当該事項を適用する。 ※ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト ※ 亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製 ・ パネル形（ ・ 天井取付 ・ 壁取付 ） ・ スリット形（ ・ 天井取付 ・ 壁取付 ） ・ ダンパー形（ ・ 天井取付 ・ 壁取付 ） 電気式（遠隔操作 ※ 不要 ・ 要） 建築設備定期検査業務基準書平成20年度版（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる
○自動制御設備	1. 中央監視制御装置 2. 電源装置 3. 温度調節器等 4. 計装工事の記録	・ 有り（構成機能は図示による） ・ 無し ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途工事） ・ 不要 取付け高さは ※ 1300mm ・ (1) 屋外、屋内露出の配線は、図示に特記がない限り金属管配管とする。 天井隠蔽の配線は、図面に特記のない限りケーブ配線とする。 (2) 原則として、次の用途に使用する電線類はEMケーブルとし、規格は一般事項17.電線類の規格による。 （機器、盤類はこれによらなくてもよい） 用途： ①電源線、接地線 ②電気式の調節器（サーモ、ヒューミディ）用電線 ③各種検出器（温度、湿度等）、操作器（バルブ、ダンパー等）における弱電信号、通信線を除く制御線

福山市上下水道局		
令和6年度 下水道事業		
工事名称	一ツ樋ポンプ場上家新築機械設備工事	
工事場所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目内	
図面番号	AM-03/21	縮尺
		—
工事区分一覧表		

設計年月 2025年 2月

凡例

AM: 建築機械設備工事
AE: 建築電気設備工事
PM: プラント機械設備工事
PE: プラント電気設備工事

工事区分一覧表 (工事区分の記載事項については、区分が不明確になる恐れのあるものについて記入する。)																										
N ｏ	一般項目	場所	建築工事	A M	A E	土木工事	P M	P E	備考	詳細項目	建築工事	A M	A E	土木工事	P M	P E	備考	詳細項目	建築工事	A M	A E	土木工事	P M	P E	備考	
1	土工事 埋め戻し 盛土					○				●R C造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部								●防火・防犯・避難								
2	地業工事 捨てコンクリート 砕石					○				貫通孔のスリーブ材及び取付け	○							消火器本体	○						備品	
3	躯体 図示による					○			土工事範囲	補強を要する型枠材及び取付け	○							消火器設置台	○						備品	
4	躯体 図示による		○						建築工事範囲	補強を要しない型枠材及び取付け	○							誘導灯			○					
5	スリーブ・箱抜		○			○				貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○					非常用照明			○					
6	仕上	内外装特記なき限り	○				○		新ポンプ：床・巾木	貫通孔・開口部の補強	○															
7	屋内床無筋コンクリート	1 F（＋500） 新ポンプ室					○			スリーブ・型枠の穴埋め		○	○		○	○		●その他								
8		2 F（＋4400） 新ポンプ室					○		配管ビット及び蓋含む									点検口（天井・床下）	○							
9	床防塵塗材塗（防滑仕上）	2 F（＋4400） 新ポンプ室 防液堤					○			●設備機器の基礎								屋内及びパイプシャフト内の配管ダクトの見え掛り 部分の塗装		○	○		○	○		
10	フリーアクセスフロアー	2 F（＋9800） 電気室						○		建築設計図に記入あるもの	○							機器搬入用フック ビーム					○			
11	モルタル金ゴテ押え	階段室	○							屋内の基礎（建築設計図に記入のないもの） 【※ 1 F（＋500）・2 F（＋4400）】				○	○		自家発電電気（P E）のみ（土木）	チェーンブロック	○							
12										屋内の基礎 サシ筋 【※ 1 F（＋500）・2 F（＋4400）】				○				床排水金物（目皿共）・排水管	○							
13	足掛金物	水路内				○				屋外・屋上の基礎	○	○	○					ドアガラリ（防火ダンパー含む）	○							
14	タラップ	階段室・新ポンプ室	○							屋上基礎で押えコンにアンカーしない軽微なもの		○	○													
15	グレーチング蓋	吐出井				○				機器取り付け用アンカー・架台		○	○		○	○		●屋外排水設備・外構								
16	マンホール蓋	スクリーン室、吐出井				○												ルーフトレン	○							
17	合成木材角落し及び受枠					○				●怪鉄天井・壁下地								地盤面までの屋外堅礎・雨水管	○						支持金物共	
18	樹脂手摺	階段室	○							補強を要するボードの切り込み下地の補強	○							雨水側溝（U-300、U-240）					○			
19	アルミ手摺	スロープ	○							補強を要しないボードの切り込み		○	○					屋外雨水排水設備					○			
20	伸縮継手					○				開口部の墨出し		○	○					樹及び樹蓋					○			
21	水位計保護管					○												雨水樹					○			
22	フロアドレン		○							●吊ボルト及びインサート																
23	ケーブルビット蓋						○			設備機器・器具・配管・配線・ダクト用		○	○		○	○		●外構工事								
24	排水管			○														敷地内アスファルト舗装					○			
25	竖樋		○							●外壁まわり																

福山市上下水道局

令和6年度 下水道事業

工事名称

ーツ樋ポンプ場上家新築機械設備工事

工事場所

福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目内

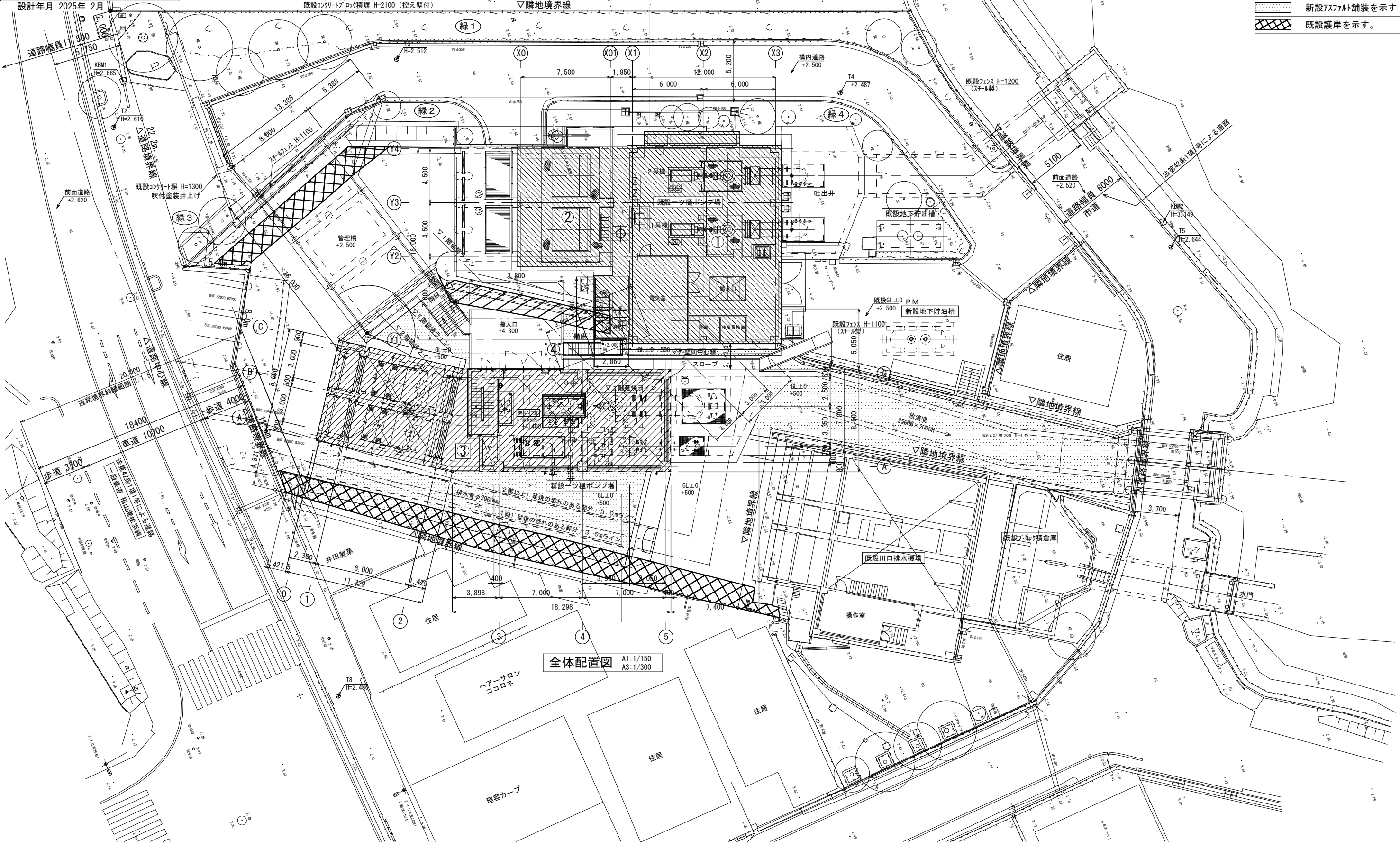
図面番号

AM-04/21 縮尺

A1:1/150
A3:1/300

全体配置図

既設建物面積表				新設建物面積表				新ポンプ場EXP. Jによる面積区分	
	①	②	計	③	④	計	合計	電気室側	新ポンプ室側
	ーツ樋ポンプ場 その他の建築物	ーツ樋ポンプ場 (除塵機棟) その他の建築物		新ポンプ場 その他の建築物	渡り廊下 その他の建築物				
敷地面積									
建築面積	237.69 m ²	105.23 m ²	342.92 m ²	245.03 m ²	5.77 m ²	250.80 m ²	593.72 m ²		
延べ面積	396.31 m ²	89.99 m ²	486.30 m ²	445.42 m ²	0.00 m ²	445.42 m ²	931.72 m ²	195.93 m ²	249.49 m ²
①・②のその他の建築物は(準耐火構造 ロ-2)の内 延焼の恐れのある部分の開口部の措置がなされていない物									
(隣地側の所有物) 既設コンクリートブロック積塀 H=2100 (控え壁付)									

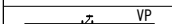
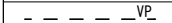
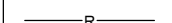
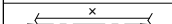
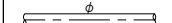


- 新設建屋を示す。
- 既設建屋を示す。
- 新設アスファルト舗装を示す
- 既設護岸を示す。

福山市上下水道局			
令和6年度 下水道事業			
工事名称	ーツ樋ポンプ場上家新築機械設備工事		
工事場所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図面番号	AM-05/21	縮 尺	ー
凡例・衛生器具表 冷暖房機器表・汚水桝リスト			

設計年月 2025年 2月

～注記～
1： 建築設備の設計、施工は、「建築設備耐震設計・施工指針」に準じる。
2： 既設給水管は、直結直圧方式である。
3： 屋内給水管への保温はグラスウール保温材20mmとし、露出部の仕上げは合成樹脂カバーとする。
また、屋外給水管への保温はポリスチレンフォーム保温材20mmとし、露出部の仕上げはSUS銅板とする。
4： 2階屋内給排水管は下階天井配管とする。（1部コロガシ配管）
5： 床コロガシの排水管の固定は、レベル調整可能架台とする。
6： 既設配管接続の図面上表記は既設図面及び現場調査によるが、工事にあたっては、現地を十分に確認し施工すること。
7： 使用する冷媒は使用する冷媒はオゾン層破壊係数0のものとする。
8： 冷暖房機はグリーン購入法適合品とする。（AC－1）
9： 冷暖房機の内外機間連絡線の露出部は屋内外ともに化粧ケース内に配線する。
10： 外壁部の樹脂製化粧ケースは、固定ビスを長ビス（6φ×30mmSUS製）とし、接合部及び嵌合部にコーキングを行う。
11： 原則、本工事で使用するアンカーはおねじアンカー（立管支持を除く）とする。
12： 冷暖房機は停電自動復帰機能付とする。
13： 2階電気室内温度は夏期は37℃を超えない設定、冬期はOFFとする。（温度センサーはリモコン側）
14： 冷暖房機ワイヤードリモコンの配線は本工事とし、配管、ボックスは電気工事とする。

管種凡例			
記 号	名 称	管 種	備 考
	給 水 管	水道用硬質ポリ塩化ビニル管	H I V P J I S K 6 7 4 2
	排 水 管	硬質ポリ塩化ビニル管	V P J I S K 6 7 4 1
	通 気 管	硬質ポリ塩化ビニル管（屋内露出部はカラーVP）	V P J I S K 6 7 4 1
	既 設 配 管	（ ）内は管径・管種を示す	
	既 設 管 接 続	既設管接続箇所を示す	
	冷 媒 管	断熱材被覆銅管	J C D A 0 0 0 9
		・屋内、屋外露出部は樹脂製化粧ケース仕上げ。	
		・屋内隠ぺい部はビニルテープ巻を適所に行う。	
	ド レ ン 管	屋外露出部：硬質塩化ビニル管	カラーVP
		屋内隠蔽部：硬質ポリ塩化ビニル管	V P J I S K 6 7 4 1
	ワイヤードリモコン	メーカー標準品	
	リ モ コ ン 配 線	メーカー標準品	
	矩 形 風 道	亜鉛鉄板製	J I S G 3 3 0 2
	換 気 ダ ク ト	スパイラルダクト（亜鉛鉄板）	J I S G 3 3 0 2
	ベ ン ト キ ャ ッ プ	SUS製 深型フード（防虫網付）	

汚水桝リスト						
記 号	名 称	桝 寸 法	呼 称	管底（H）	蓋	備 考
	汚 水 桝	200φ	45YS 100-200 T-25	995	保護鉄蓋	段差付小口径桝 新設
	既 設 汚 水 桝	（150φ）	ST 100-150 T-20	（880）	保護鉄蓋	小口径桝 既存のまま
	既 設 汚 水 桝	（150φ）	ST 100-150 T-20	（1010）	保護鉄蓋	小口径桝 既存のまま

器具表		1階		中2階	2階		合 計
名 称	適 要	外 部	E X P J 部	新ボンプ室	トイ レ	階 室	
洋 風 便 器	専用洗浄弁式 ふた付普通便座 SUS製紙巻器（ワンタッチ式）	新設			1		1
壁 掛 け 手 洗 器	壁埋込 単水栓共 壁給水 壁排水 （Pトラップ）	新設			1		1
壁 掛 け 手 洗 器	平付 単水栓共 壁給水 壁排水 水石けん入れ共 （Sトラップ）	新設		1			1
据置型電気温水器 （飲料・洗い物用）	12L 先止め式 AC100V 壁付熱湯口付シングルレバー混合栓共	新設				1	1
仕 切 弁	10K20A ボックス共		1				1
フレキシブルジョイント	20A 300mm SUS製		1	2			3
床 上 掃 除 口	100A シート床用					1	1
床 下 掃 除 口	100A		5				5
通 気 金 物	50A 壁用					1	1
ドレンパイプ用逆止弁	25A VP用（冷暖房ドレン）		2				2
ドレンパイプ用逆止弁	20A VP用（冷暖房ドレン）		1				1

冷暖房機器表					
記 号	名 称	仕 様	設置場所	備 考	台 数
	電気式空冷 パッケージ形空調和機	形 式 ： 壁掛形 シングル（塩害対策品） 定格冷房能力 ： 10.0kW 定格暖房能力 ： 11.2kW 電 源 ： 3φ200V 付 属 品 ： 壁掛架台SUS ワイヤードリモコン、 アンカーボルト・ナット（SUS304）等	2階 電気室	新設 停電自動復帰機能付 室内設定温度37℃以下 夏期のみ運転 設置高：FL+2,200	3組
	ルームエアコン	形 式 ： 壁掛形（塩害対策品） 定格冷房能力 ： 2.8kW 定格暖房能力 ： 3.6kW 電 源 ： 1φ100V 付 属 品 ： 壁掛架台SUS ワイヤレスリモコン、 アンカーボルト・ナット（SUS304）等	2階 休憩室	新設 設置高：FL+2,200	1組

福 山 市 上 下 水 道 局			
令 和 6 年 度 下 水 道 事 業			
工 事 名 称	一ツ樋ポンプ場上家新築機械設備工事		
工 事 場 所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図面番号	AM-06/21	縮 尺	—
換気機器表			

設計年月 2025年 2月

換気設備機器表					
記 号	名 称	仕 様	設置場所	備 考	台 数
	屋上換気扇	形 式 : (給気用) 羽根径750 風 量 : 15,000m3/H 静 圧 : 70Pa 電 源 : 3φ200V 1.5kw 材 質 : 羽根部 アルミ合金 本 体 SS400 天 蓋 亜鉛メッキ鋼板 付 属 品 : 吸込み防止ドレン 付属品 一式	R階		1台
	屋上換気扇	形 式 : (給気用) 羽根径1,050 風 量 : 30,000m3/H 静 圧 : 70Pa 電 源 : 3φ200V 2.2kw 材 質 : 羽根部 アルミ合金 本 体 SS400 天 蓋 亜鉛メッキ鋼板 付 属 品 : 吸込み防止ドレン 付属品 一式	R階		2台
	有圧換気扇	形 式 : (排気用) φ750 風 量 : 10,000m3/H 静 圧 : 50Pa 電 源 : 3φ200V 1.2kw 材 質 : 羽根部 アルミ合金 本 体 SS400 付 属 品 : ガードネット(鉄製) 付属品 一式	2階 ポンプ室	外壁貫通部FD取付	1台
	有圧換気扇	形 式 : (排気用) φ1,200 風 量 : 35,000m3/H 静 圧 : 40Pa 電 源 : 3φ200V 3.2kw 材 質 : 羽根部 アルミ合金 本 体 SS400 付 属 品 : ガードネット(鉄製) 付属品 一式	2階 ポンプ室	外壁貫通部FD取付	1台

消音器機器表					
記 号	名 称	仕 様	設置場所	備 考	台 数
	消音器	(FS-1用) 700W×700D×1,200L, GW(撥水性)50t×16Kパンチングメタル, ステンレス外装 (株) 日本消音研究所又は同等品以上	R階		1台
	消音器	(FS-2用) 1,000W×1,000D×1,200L, GW(撥水性)50t×16Kパンチングメタル, ステンレス外装 (株) 日本消音研究所又は同等品以上	R階		2台
	消音器	(FE-1用) 900W×900D×1,500L, GW(撥水性)50tパンチングメタル, ステンレス外装 (株) 日本消音研究所又は同等品以上	2階	外壁用 架台共	1台
	消音器	(FE-2用) 1,200W×1,200D×1,500L, GW(撥水性)50tパンチングメタル, ステンレス外装 (株) 日本消音研究所又は同等品以上	2階	外壁用 架台共	1台

換気機器表					
記 号	名 称	仕 様	設置場所	備 考	台 数
	ストレートシロッコファン (排気用)	形 式 : 天井埋込消音形 必要風量 : 700m³/h 機外静圧 : 130Pa 電 源 : 1φ100V 付 属 品 : たわみ継手×2 消音形排気グリル SUS製深型フード 防虫網付 150φ用(塩害対策品)	2階 電気室	新設 天井内設置 手動運転	1台
	天井換気扇	形 式 : 天井埋込低騒音形 必要風量 : 290m³/h 機外静圧 : 50Pa 電 源 : 1φ100V 付 属 品 : SUS製深型フード 防虫網付 150φ用(塩害対策品)	2階 トイレ	新設 天井設置 手動運転	1台
	天井換気扇	形 式 : 天井埋込低騒音形(本体金属製) 必要風量 : 200m³/h 機外静圧 : 60Pa 電 源 : 1φ100V 付 属 品 : SUS製深型フード 防虫網付 100φ用(塩害対策品)	2階 階段室	新設 天井設置 手動運転	1台
	天井換気扇 (24時間換気対応)	形 式 : 天井埋込低騒音形 必要風量 : 90m³/h(常時:10m³/h) 機外静圧 : 20Pa(常時:5Pa) 電 源 : 1φ100V 付 属 品 : SUS製深型フード 防虫網付 100φ用(塩害対策品)	2階 休憩室	新設 天井設置 手動運転(常時弱運転)	1台
	ストレートシロッコファン (給気用)	形 式 : 天井埋込消音形 必要風量 : 700m³/h 機外静圧 : 220Pa 電 源 : 1φ100V フィルタ : SUS製除塩フィルターユニット 差圧計付 (プレフィルター+塩害対策中性性能フィルター) 補修率95%以上 付 属 品 : たわみ継手×2 消音形給気グリル SUS製深型フード 防虫網付 150φ用(塩害対策品)	2階 電気室	新設 天井内設置 FE-01と連動運転	1台

福山市上下水道局

令和6年度 下水道事業

工事名称
一ツ樋ポンプ場上新築機械設備工事

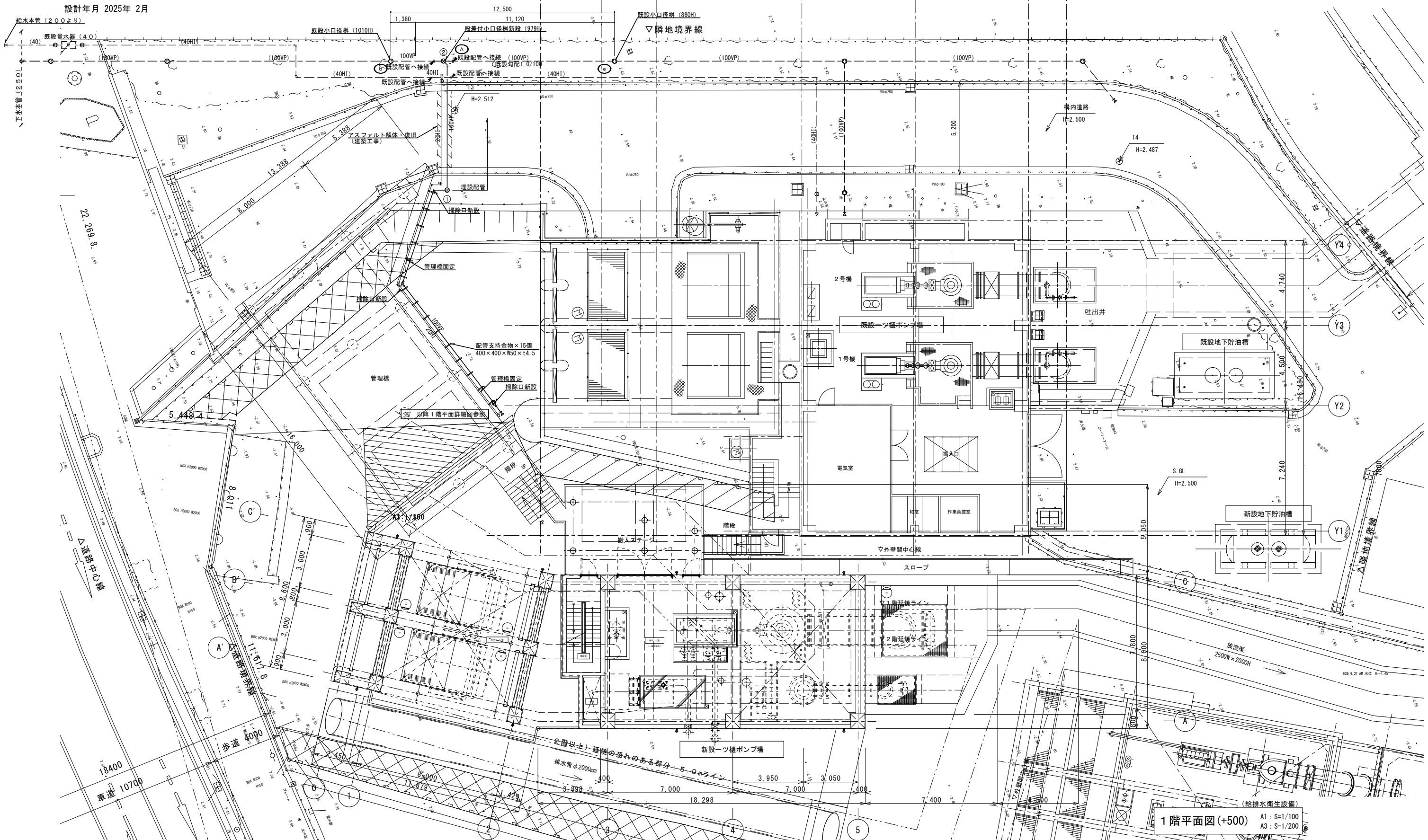
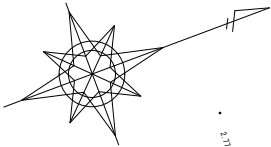
工事場所
福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内

図面番号
AM-07/21 縮尺
A1:1/100
A3:1/200
(給排水衛生設備)

1階平面図(+500)

汚水樹一覧表				
番号	樹種別	深さ	蓋	備考
①	小口径樹 DR 100-200	906	鉄製防護T8	
②	小口径樹 90Y 100×100-200	979	鉄製防護T8	段差付樹

埋設表示杭			
記号	仕様	数量	備考
□	コンクリート製	2	



1階平面図(+500) A1: S=1/100 A3: S=1/200 (給排水衛生設備)

福山市上下水道局

令和6年度 下水道事業

工事名称

ーツ樋ポンプ場上家新築機械設備工事

工事場所

福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内

図面番号

AM-08/21

縮尺

A1: 1/50
A3: 1/100

(給排水衛生設備)

1階平面詳細図(+500)

設計年月 2025年 2月

※ 以降1階平面図参照

配管支持金物×6個
400×490×W50×t4.5
溶融亜鉛メッキ

階段固定

掃除口新設

既設ポンプ増上屋

外壁間中心線

延長ライン3m

新ポンプ室

階段室

扉道

吐出井

1階延長ライン

外壁間中心線

1階) 延長の恐れのある部分: 3.0mライン

1階平面詳細図(+500)

(給排水衛生設備)
A1: S=1/50
A3: S=1/100

福山市上下水道局		
令和6年度 下水道事業		
工事名称	ーツ緑ポンプ場上家新築機槽設備工事	
工事場所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内	
図面番号	AM-09/21	縮尺 A1:1/50 A3:1/100
(給排水衛生設備)		
2階平面詳細図 (+4400)		

令和6年度 下水道事業

工事名称	ーツ樋ポンプ場上家新築機械設備工事
------	-------------------

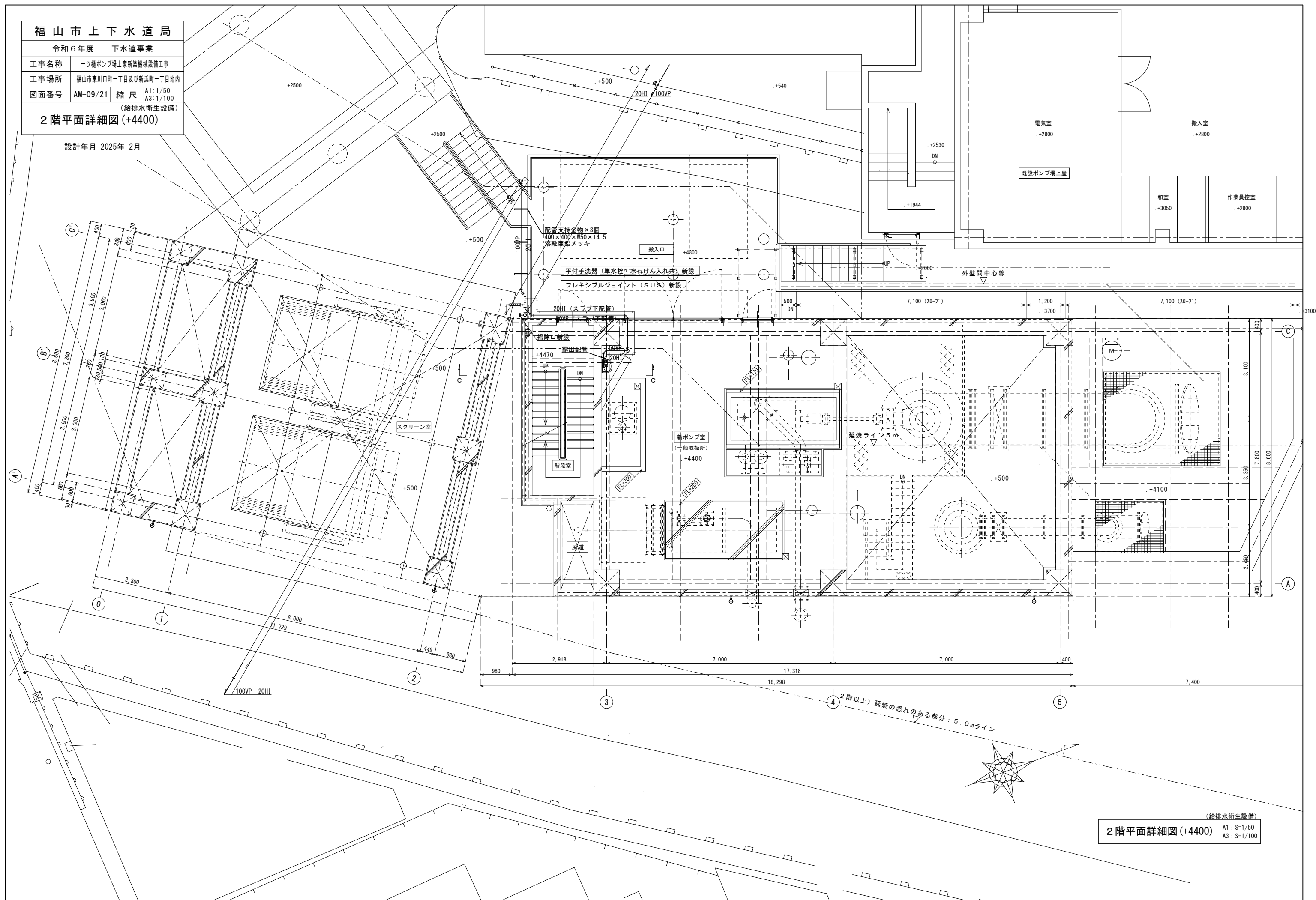
工事場所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内
------	----------------------

図面番号	AM-09/21	縮 尺	A1:1/50 A3:1/100
------	----------	-----	---------------------

(給排水衛生設備)

2階平面詳細図(+4400)

設計年月 2025年 2月



福山市上下水道局

令和6年度 下水道事業

工事名称

一ツ樋ポンプ場上新築機械設備工事

工事場所

福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内

図面番号

AM-10/21

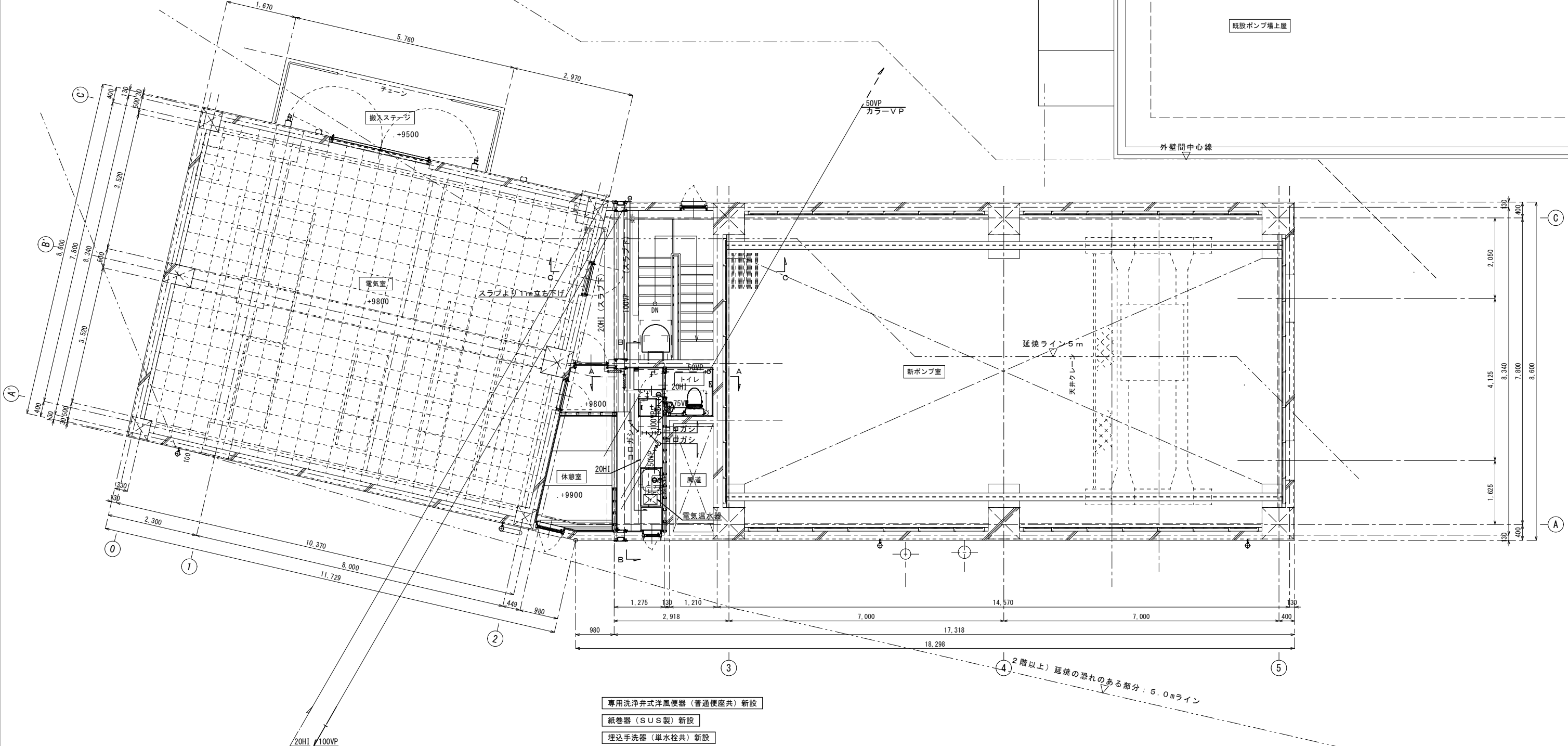
縮尺

A1: 1/50
A3: 1/100

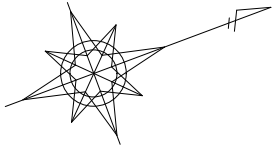
(給排水衛生設備)

2階平面詳細図(+9800)

設計年月 2025年 2月



- 専用洗浄弁式洋風便器 (普通便座共) 新設
- 紙巻器 (SUS製) 新設
- 埋込手洗器 (単水栓共) 新設
- 床置型電気温水器新設
- 熱湯口付シングルレバー混合水栓 (壁付) 新設
- フレキシブルジョイント (SUS) 新設 × 2
- 床上掃除口 100A 新設



(給排水衛生設備)

2階平面詳細図 (+9800)

A1 : S=1/50
A3 : S=1/100

福山市上下水道局

令和6年度 下水道事業

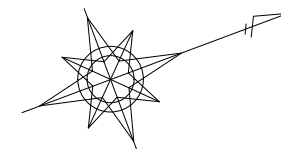
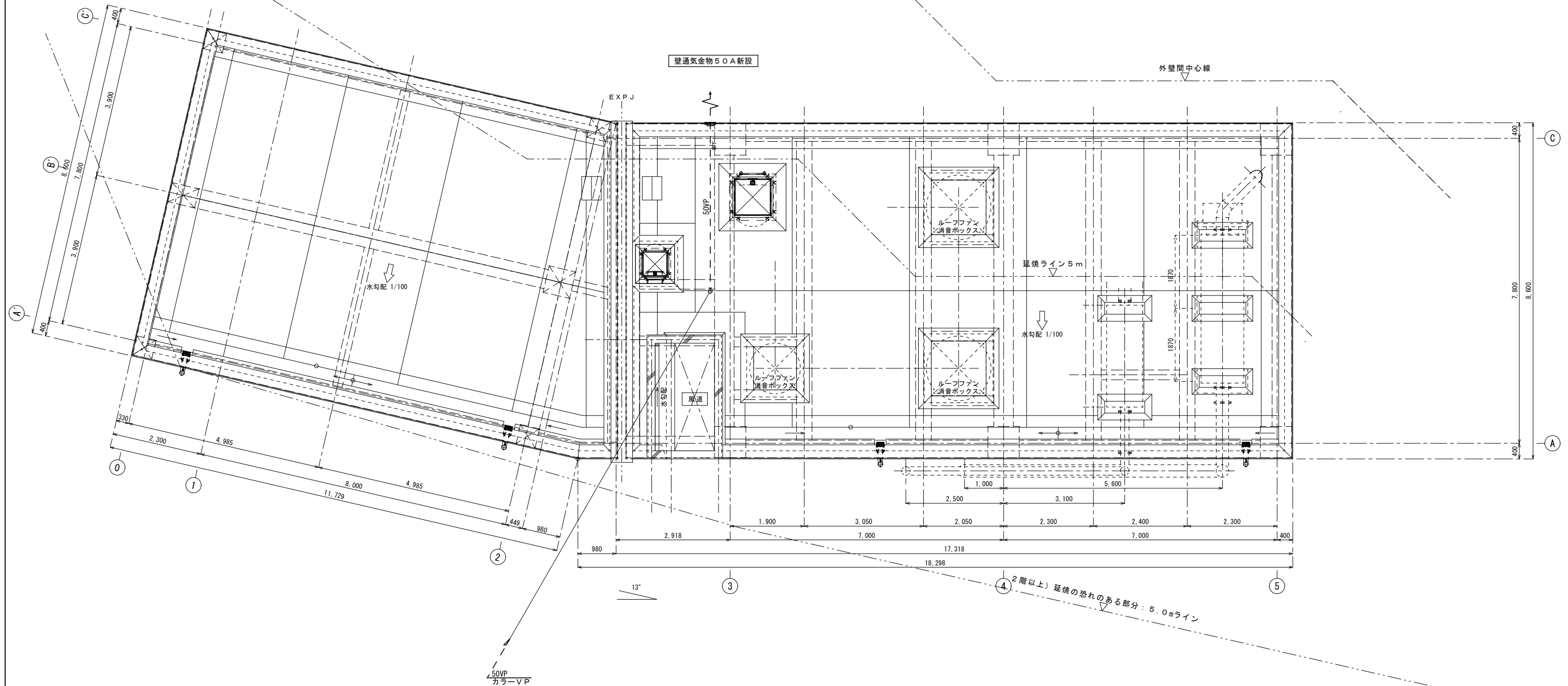
工事名称	一ツ樋ポンプ場上家新築機械設備工事
------	-------------------

工事場所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内
------	----------------------

図面番号	AM-11/21	縮 尺	A1:1/50 A3:1/100
------	----------	-----	---------------------

R階平面詳細図

設計年月 2025年 2月



R階平面詳細図

(給排水衛生設備)

$$\begin{aligned} A1 : S &= 1/50 \\ A3 : S &= 1/100 \end{aligned}$$

福山市上下水道局

令和6年度 下水道事業

工事名称

ーツ樋ポンプ場上家新築機械設備工事

工事場所

福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内

図面番号

AM-12/21

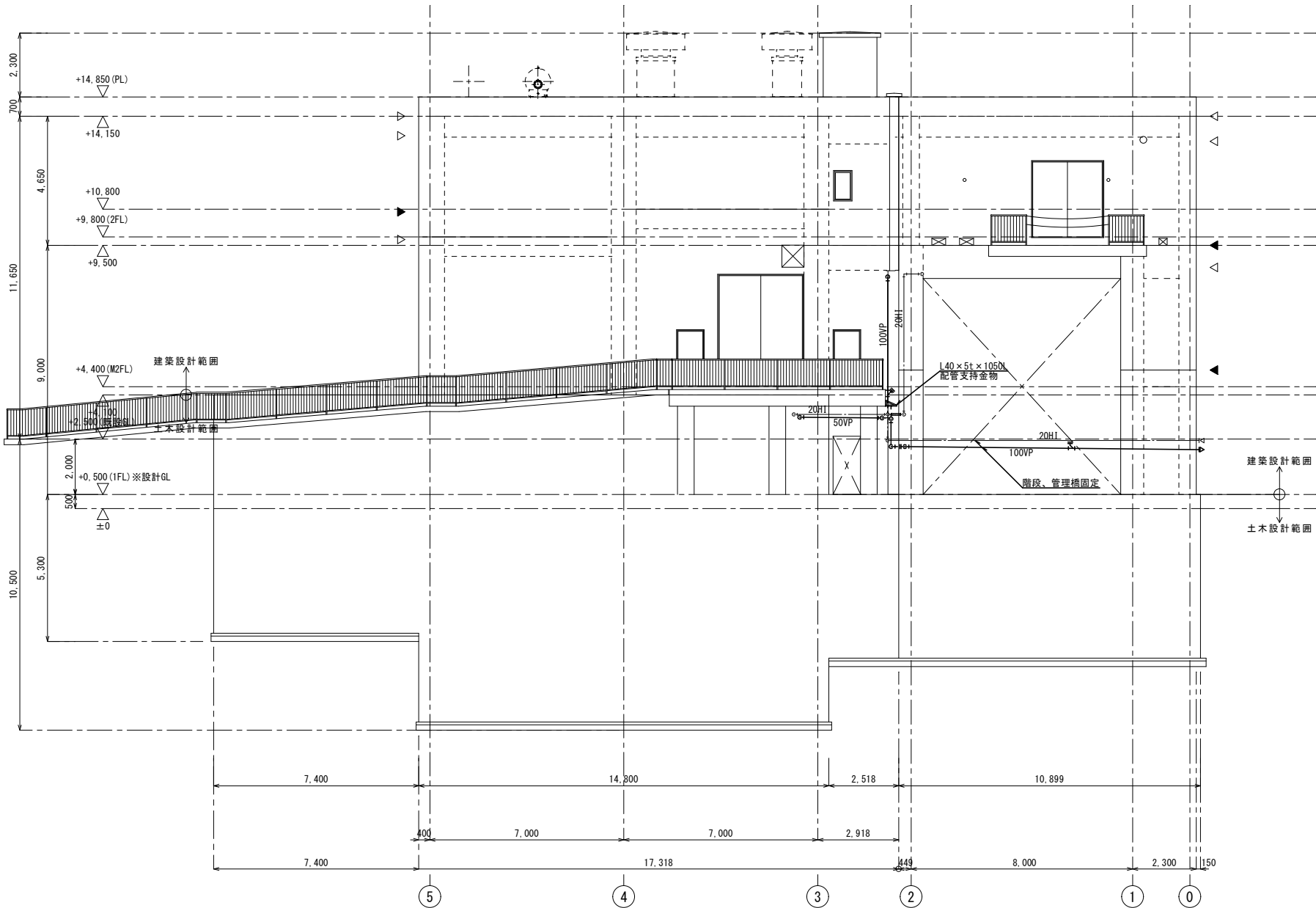
縮尺

A1:1/100・1/50
A3:1/200・1/100

(給排水衛生設備)

西側立面図・断面詳細図

設計年月 2025年 2月



430

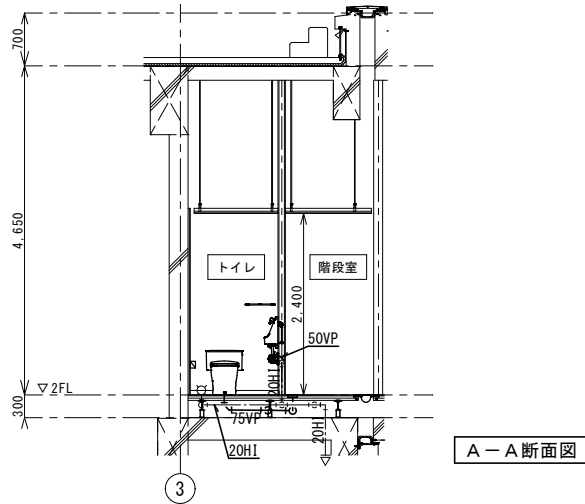
200

400

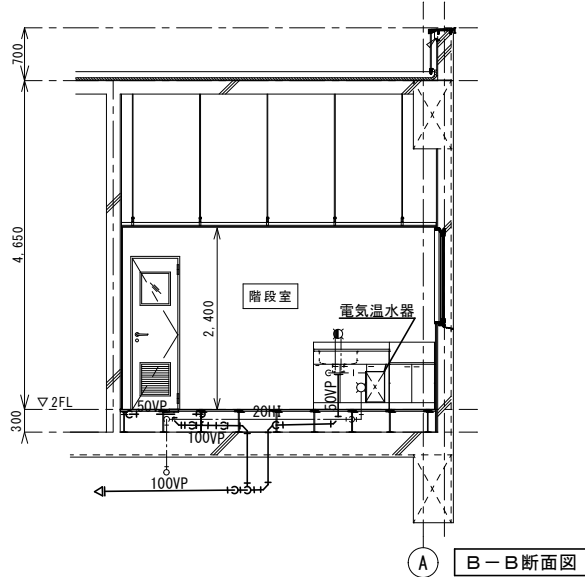
等辺山形鋼 (SUS製)
L-40×40×5
~12か所

配管支持金物要領図

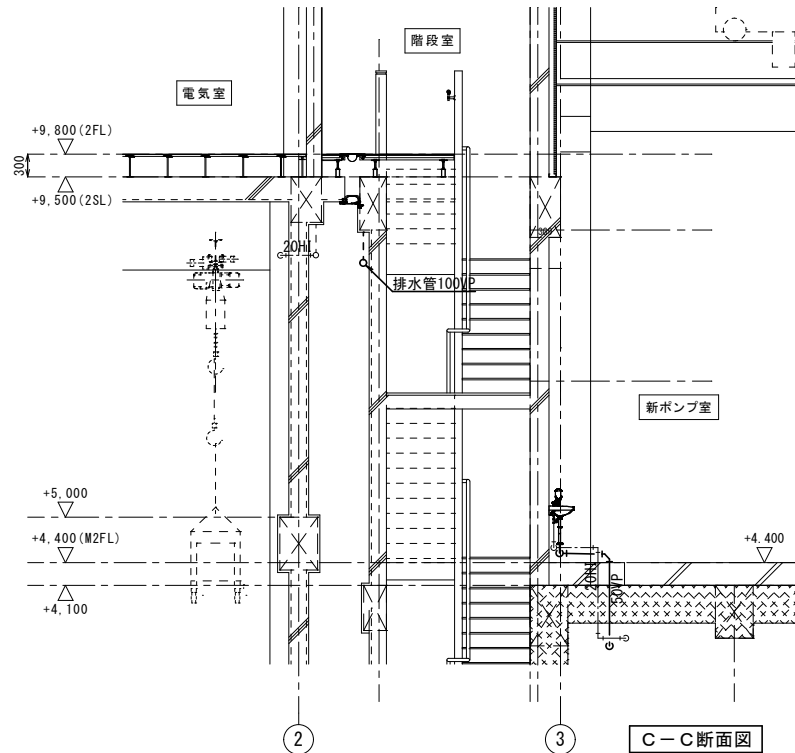
西側立面図 (給排水衛生設備)
A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



A-A断面図



B-B断面図



C-C断面図

断面詳細図 (給排水衛生設備)
A1 : S=1/50
A3 : S=1/100

福山市上下水道局

令和6年度 下水道事業

工事名称

ーツ樋ポンプ場上新築機械設備工事

工事場所

福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内

図面番号

AM-13/21

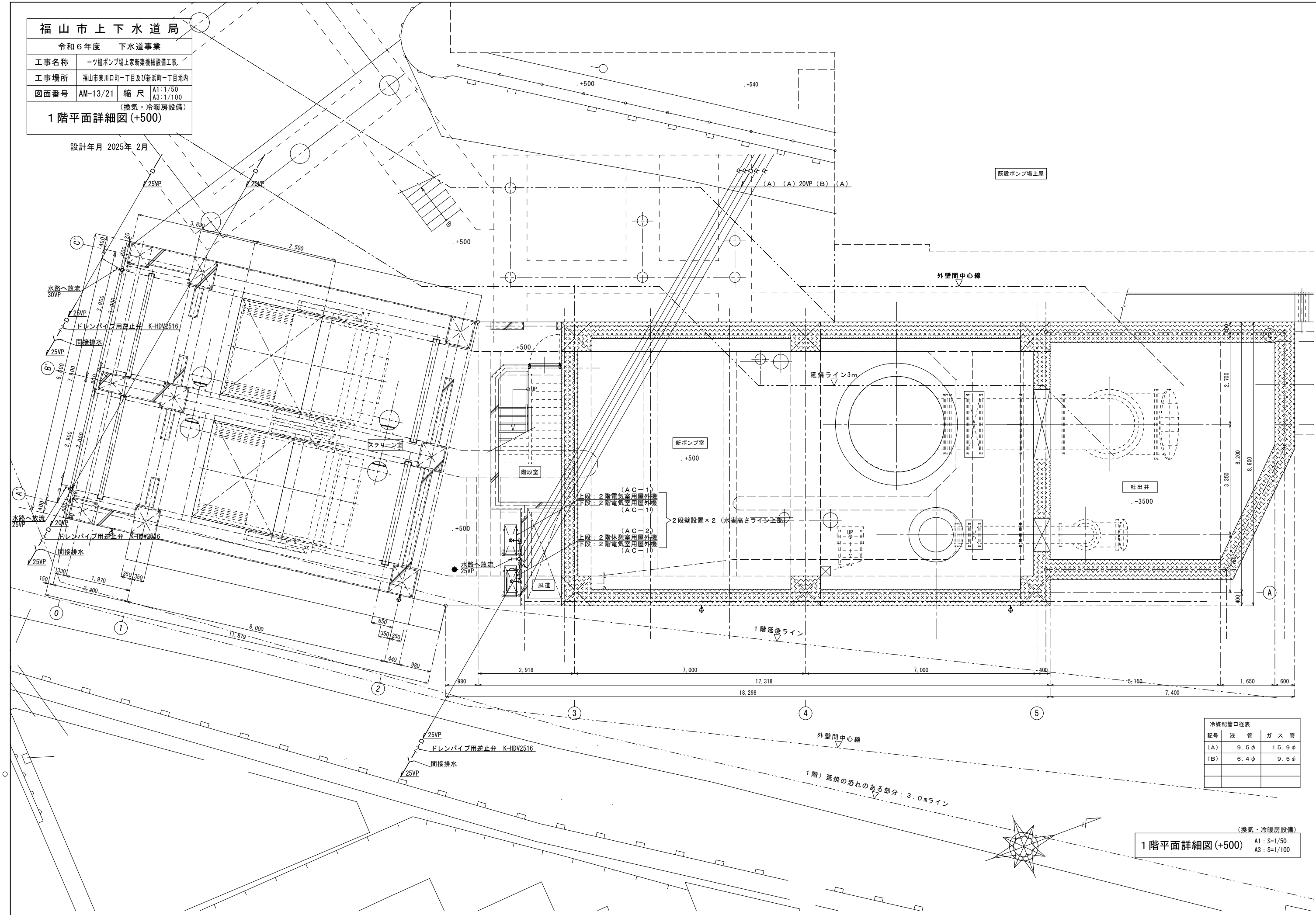
縮尺

A1:1/50
A3:1/100

(換気・冷暖房設備)

1階平面詳細図(+500)

設計年月 2025年 2月



冷媒配管口径表		
記号	液 管	ガ ス 管
(A)	9.5φ	15.9φ
(B)	6.4φ	9.5φ

(換気・冷暖房設備)

1階平面詳細図(+500)

A1 : S=1/50
A3 : S=1/100

福山市上下水道局

令和6年度 下水道事業

工事名称

ーッ樋ポンプ場上新築機械設備工事

工事場所

福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内

図面番号

AM-14/21

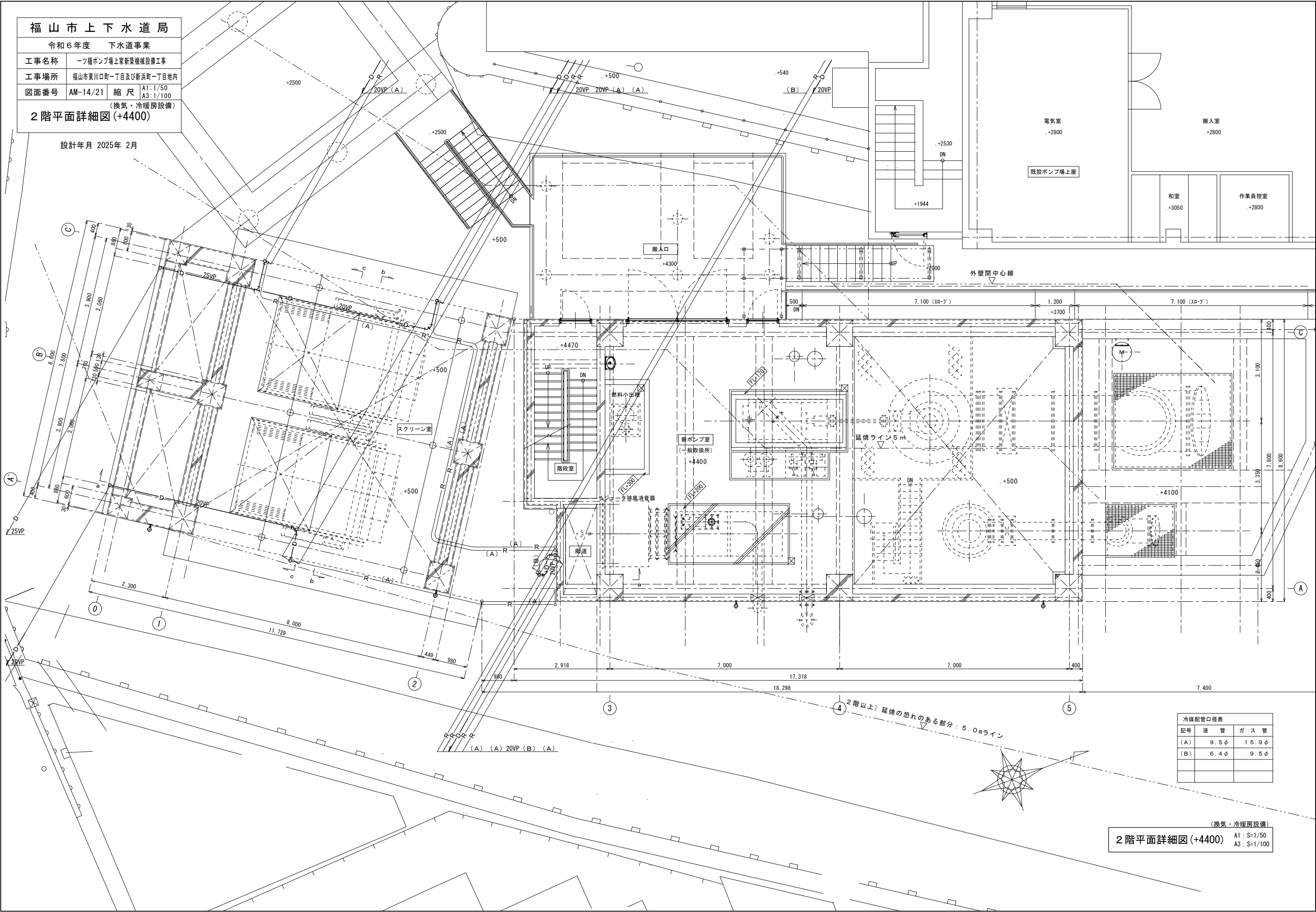
縮尺

A1:1/50
A3:1/100

(換気・冷暖房設備)

2階平面詳細図(+4400)

設計年月 2025年 2月



冷媒配管口径表		
記号	液 管	ガ ス 管
(A)	9.5φ	15.9φ
(B)	6.4φ	9.5φ

(換気・冷暖房設備)

2階平面詳細図(+4400)

A1: S=1/50
A3: S=1/100

福山市上下水道局

令和6年度 下水道事業

工事名称

ーツ樋ポンプ場上家新築機械設備工事

工事場所

福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内

図面番号

AM-15/21

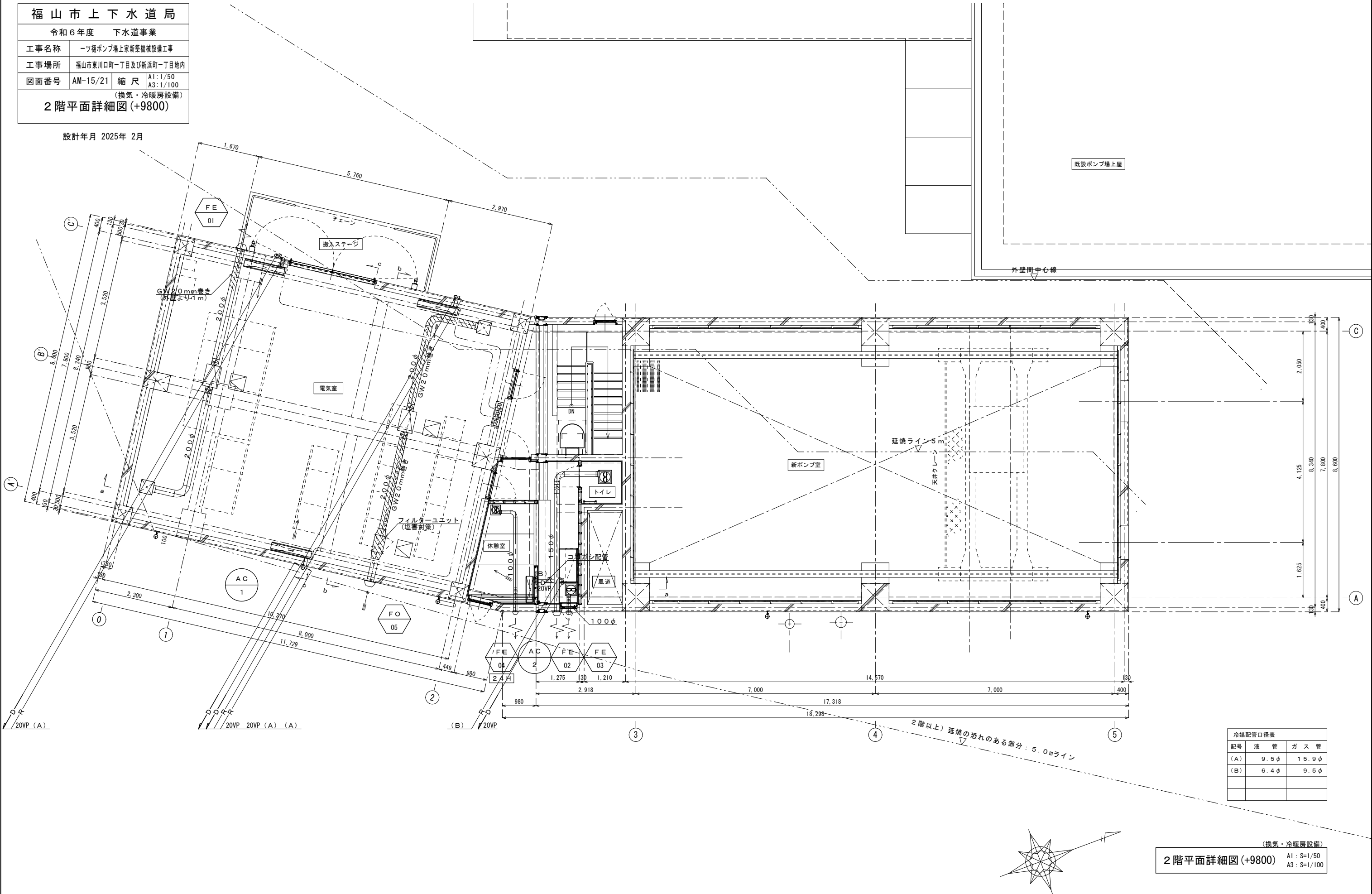
縮尺

A1:1/50
A3:1/100

(換気・冷暖房設備)

2階平面詳細図(+9800)

設計年月 2025年 2月



冷媒配管口径表		
記号	液 管	ガ ス 管
(A)	9.5φ	15.9φ
(B)	6.4φ	9.5φ

(換気・冷暖房設備)

2階平面詳細図(+9800)

A1: S=1/50
A3: S=1/100

福山市上下水道局

令和6年度 下水道事業

工事名称

ーツ樋ポンプ場上家新築機械設備工事

工事場所

福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内

図面番号

AM-16/21

縮尺

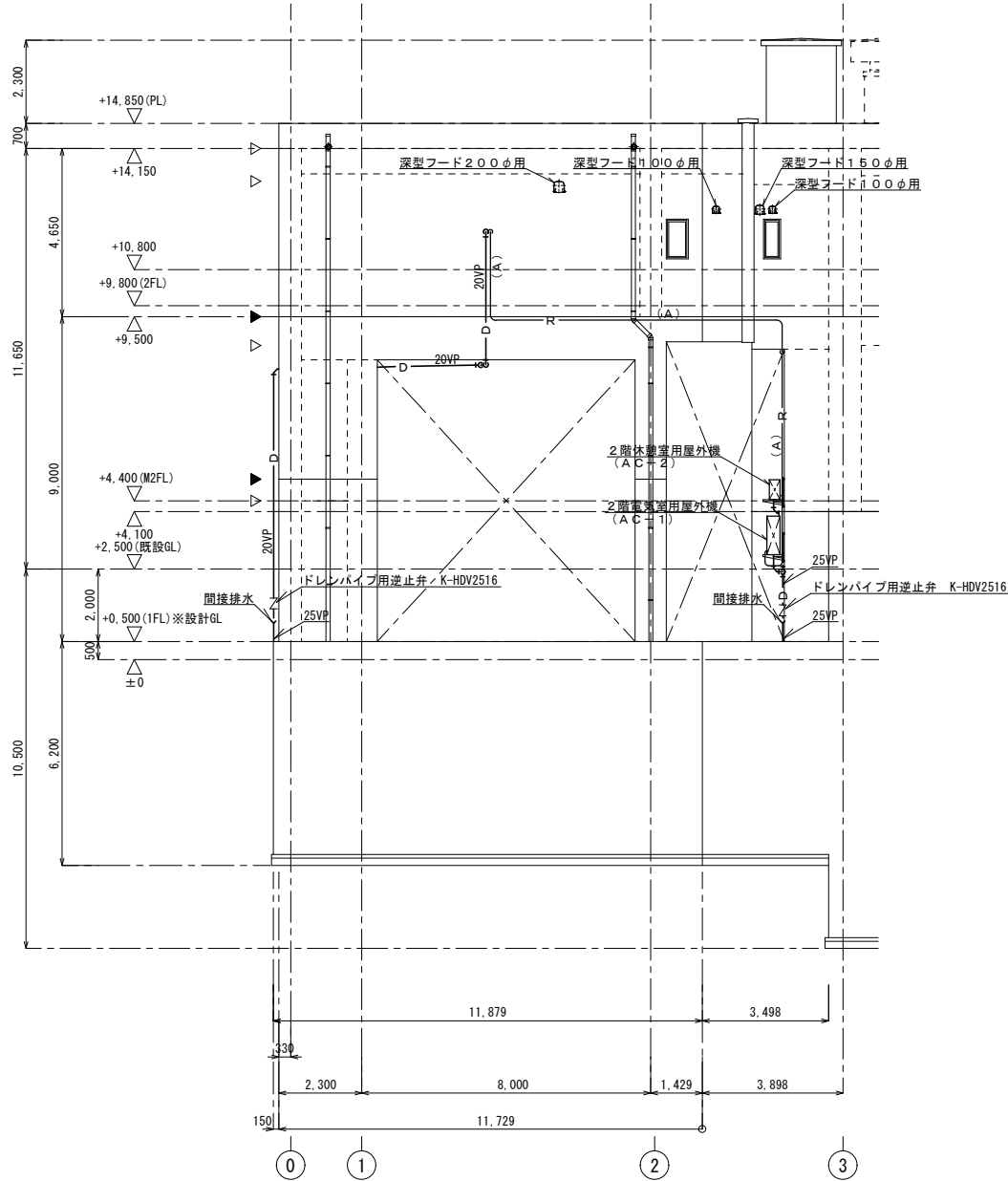
A1:1/100
A3:1/200

(換気・冷暖房設備)

東側、西側、南側立面図

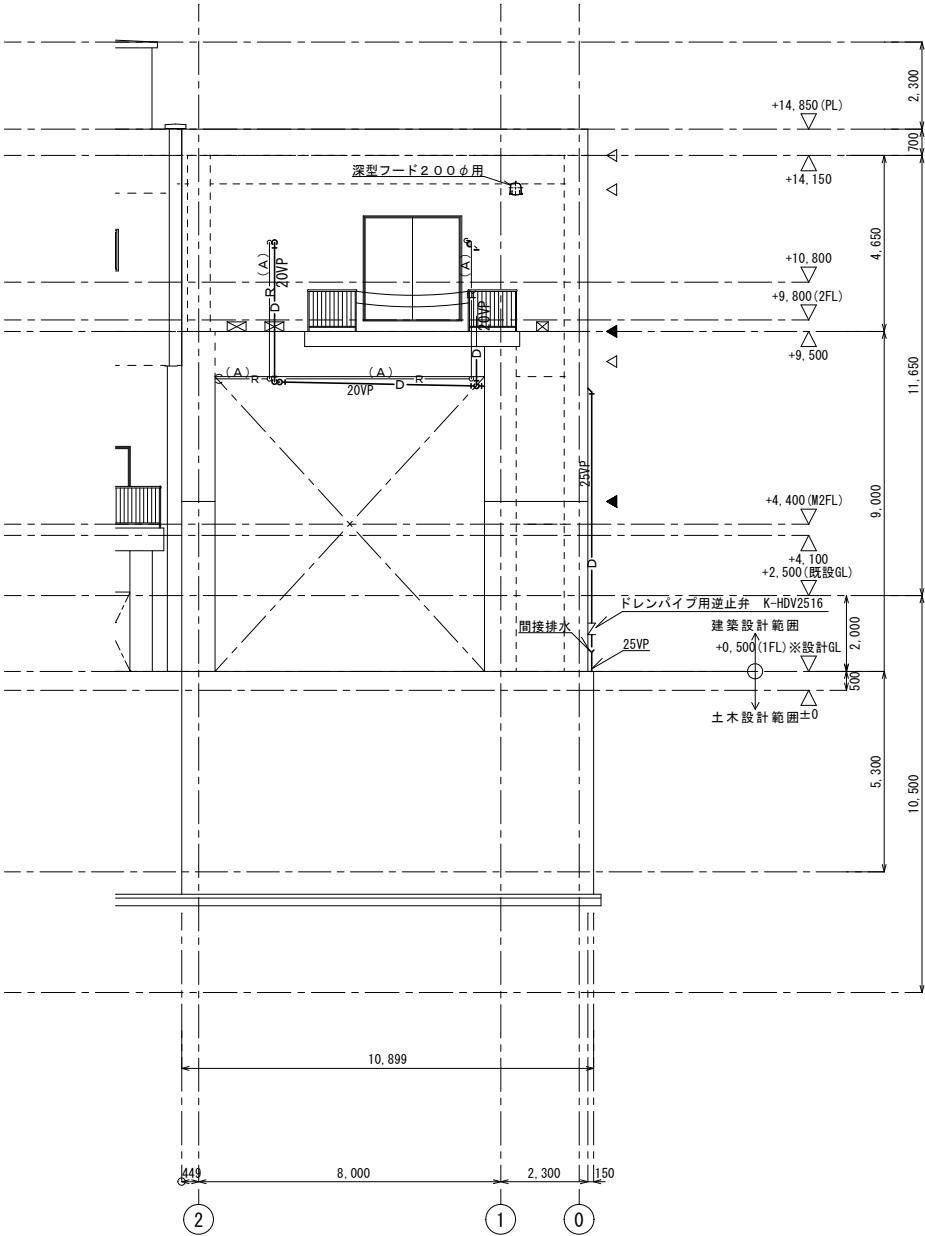
設計年月 2025年 2月

冷媒配管口径表		
記号	液 管	ガ ス 管
(A)	9.5φ	15.9φ
(B)	6.4φ	9.5φ



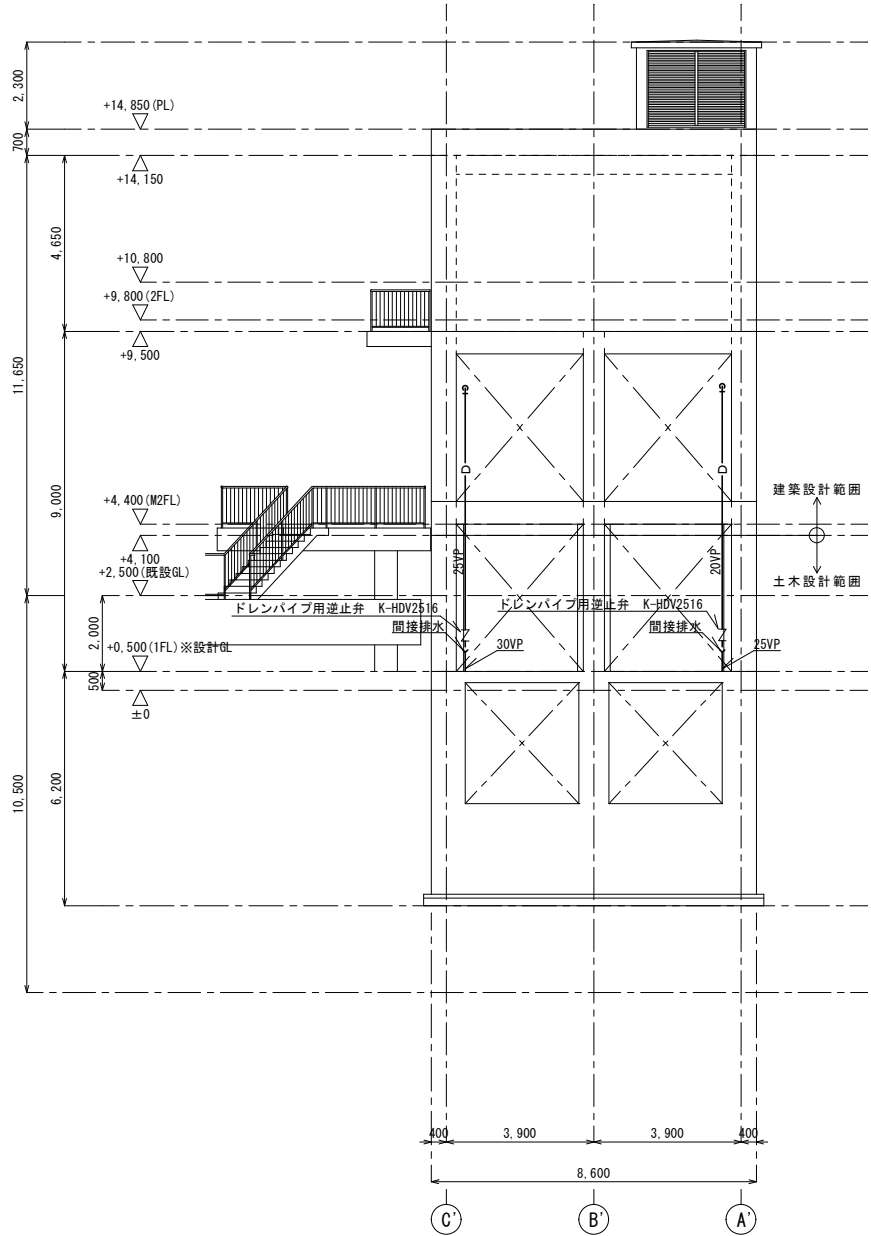
東側立面図

(給排水衛生設備)
A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



西側立面図

(給排水衛生設備)
A1 : S=1/100
A3 : S=1/200



南側立面図

(給排水衛生設備)
A1 : S=1/100
A3 : S=1/200

福山市上下水道局

令和6年度 下水道事業

工事名称

ーツ樋ポンプ場上家新築機械設備工事

工事場所

福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内

図面番号

AM-17/21

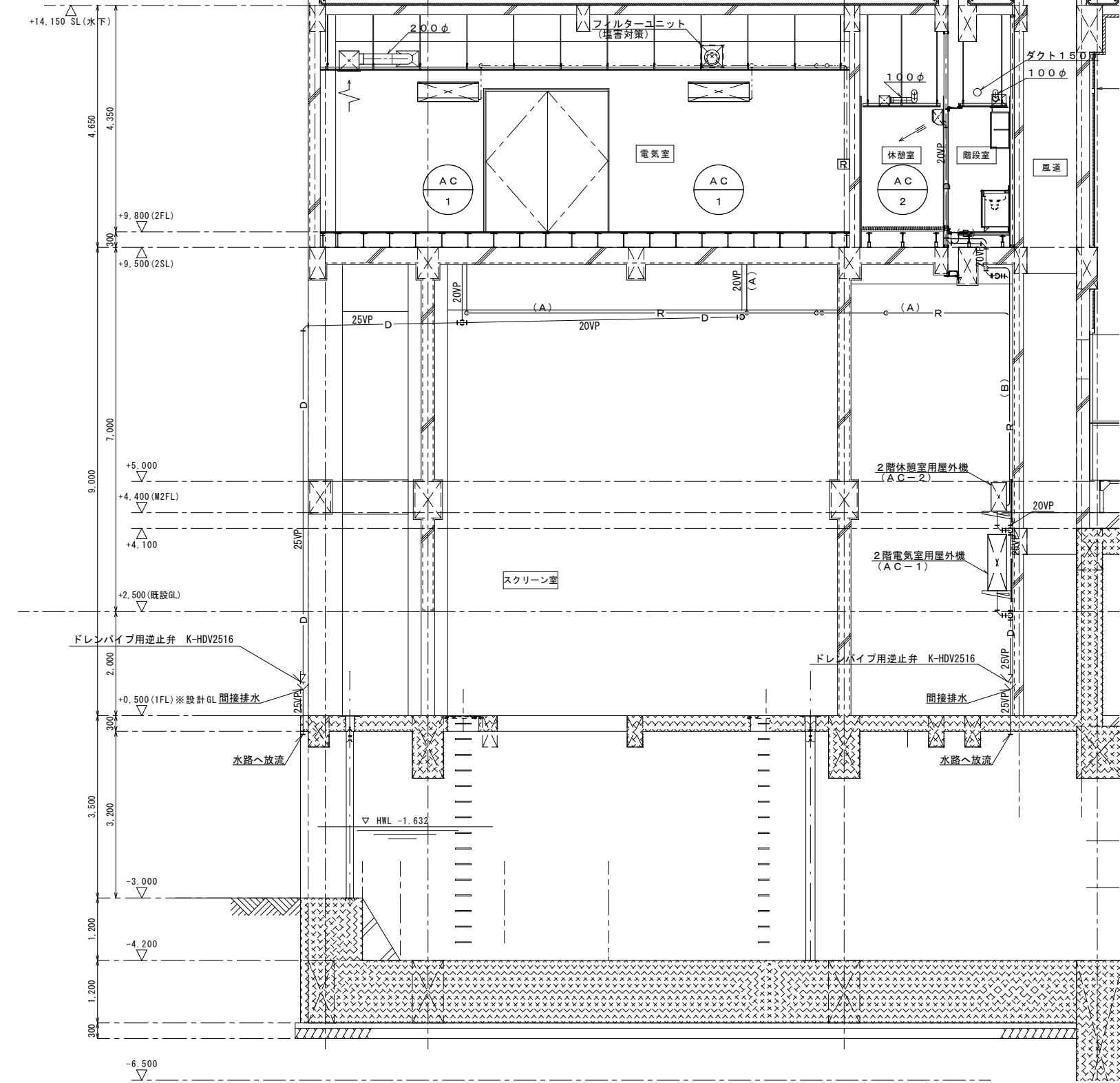
縮尺

A1:1/50
A3:1/100

(換気・冷暖房設備)

断面詳細図

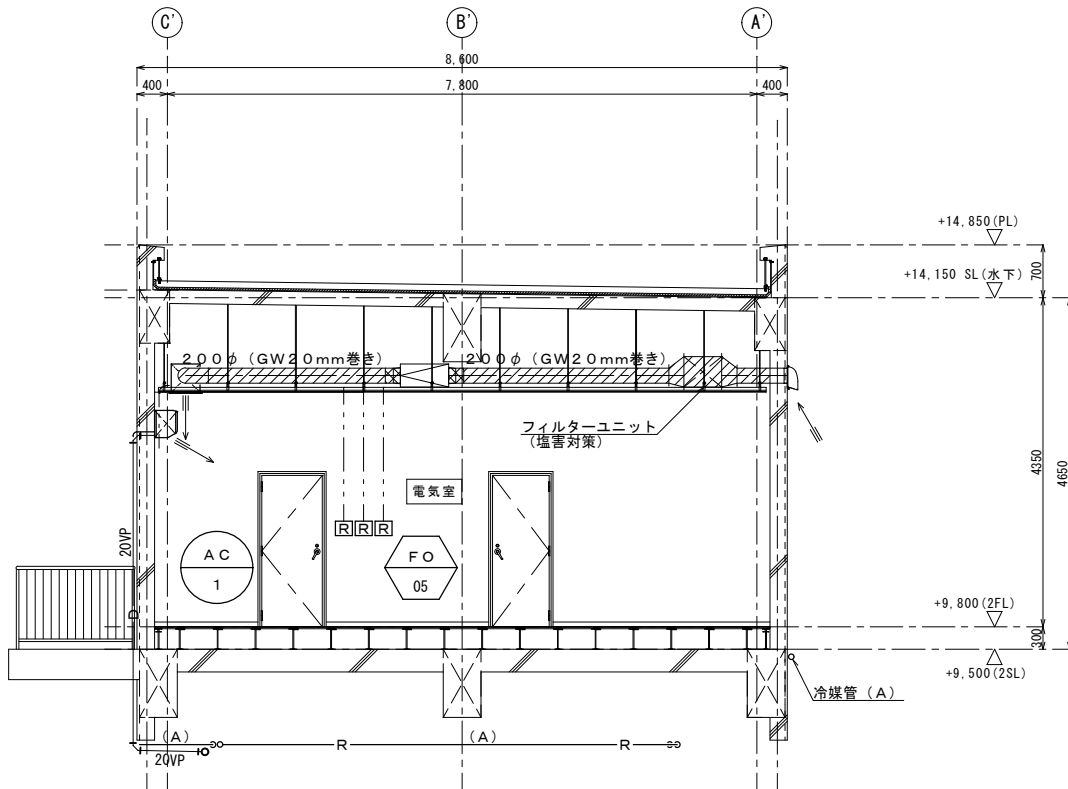
設計年月 2025年 2月



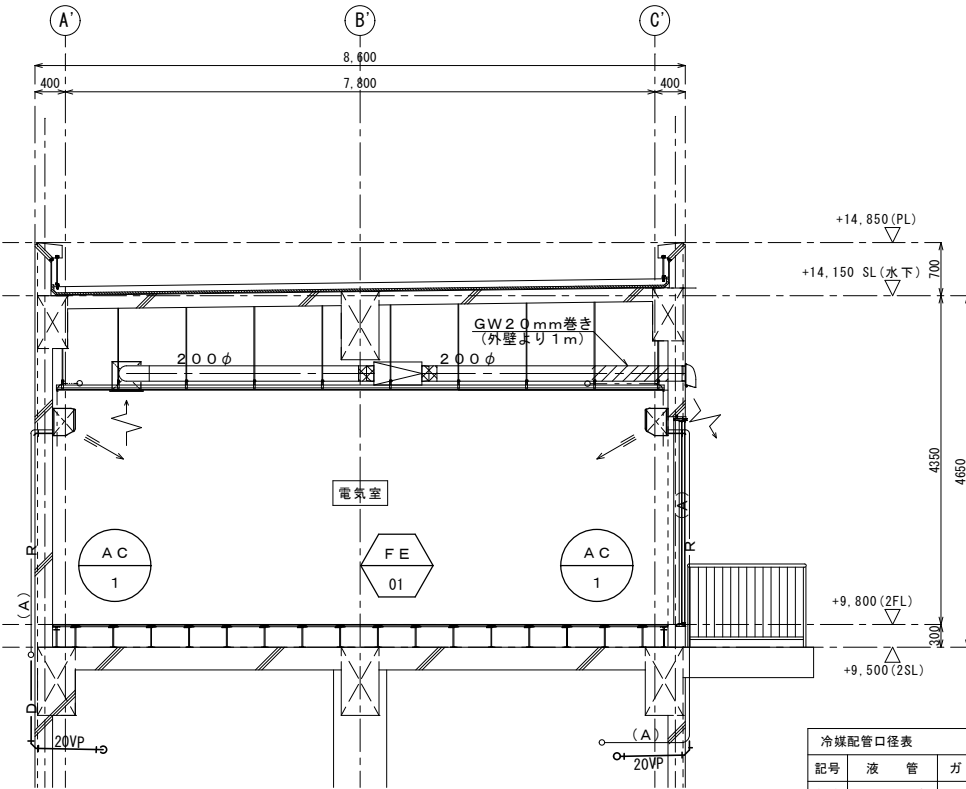
a - a 断面図

断面詳細図

(換気・冷暖房設備)
A1 : S-1/50
A3 : S-1/100



b - b 断面図



c - c 断面図

冷媒配管口径表		
記号	液 管	ガ ス 管
(A)	9.5 φ	15.9 φ
(B)	6.4 φ	9.5 φ

福山市上下水道局

令和6年度 下水道事業

工事名称

ーツ樋ポンプ場上家新築機械設備工事

工事場所

福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内

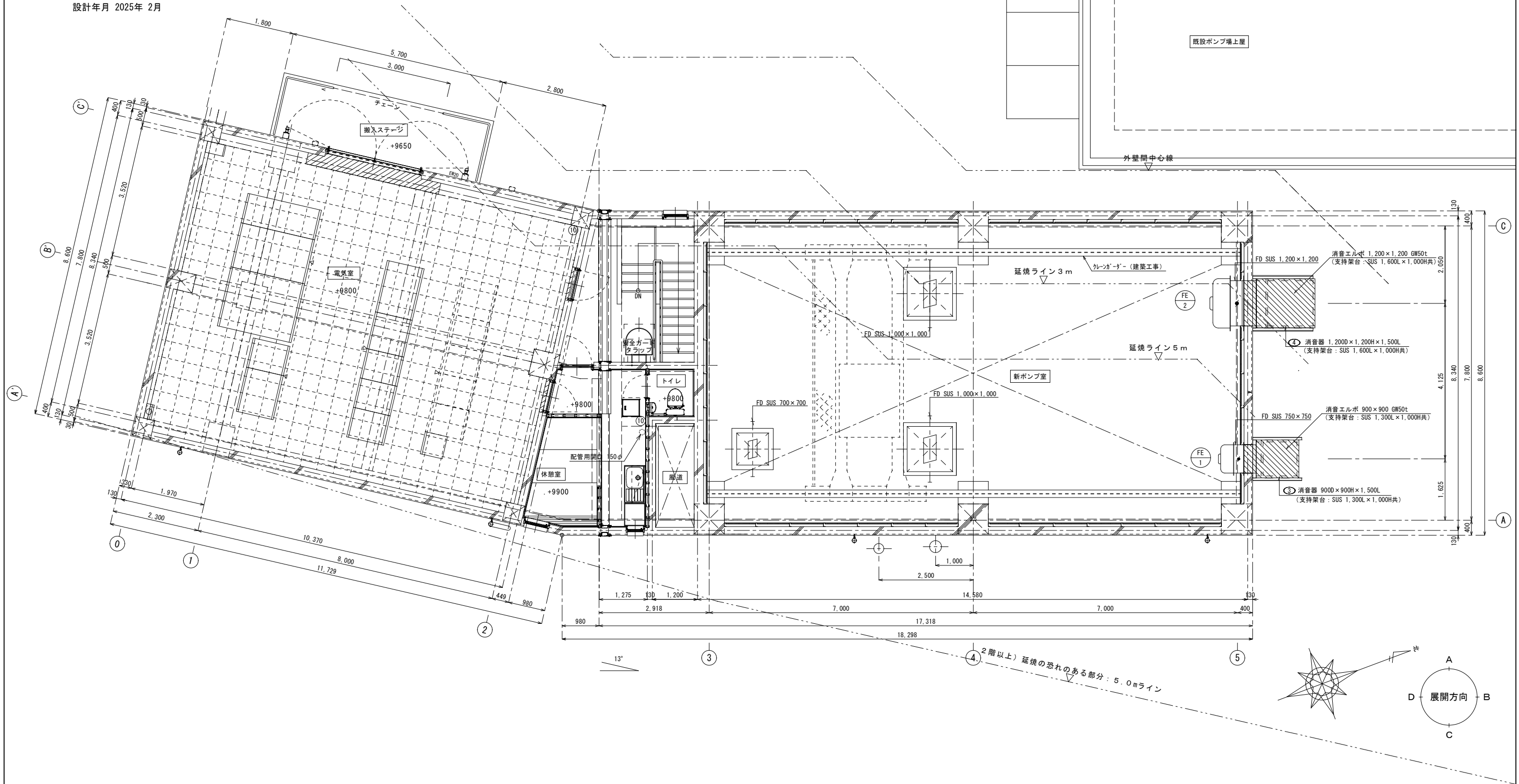
図面番号

AM-18/21 縮尺

A1: 1/50
A3: 1/100

換気設備 2階平面詳細図
(+9800)

設計年月 2025年 2月

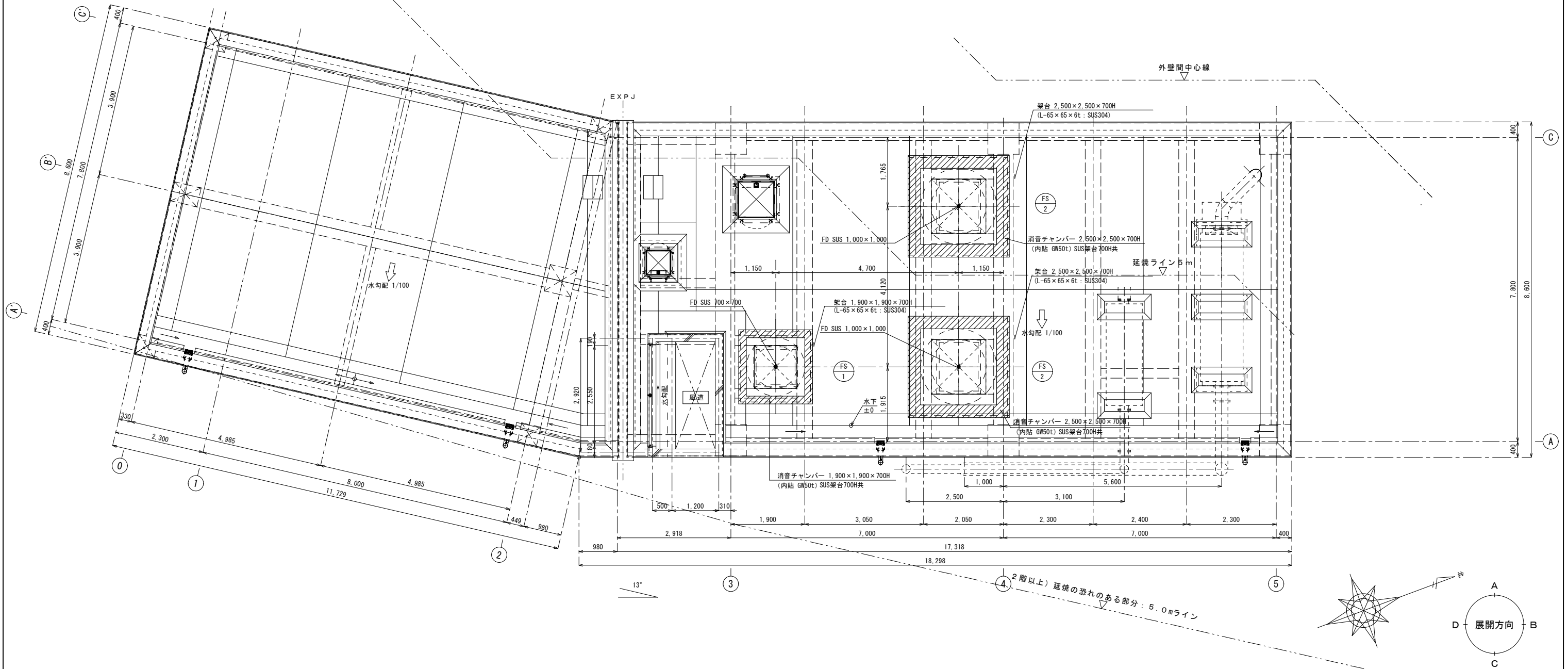


換気設備 2階平面詳細図
(+9800)

A1: S=1/50
A3: S=1/100

福山市上下水道局			
令和6年度 下水道事業			
工事名称	一ツ樋ポンプ場上新築機械設備工事		
工事場所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内		
図面番号	AM-19/21	縮尺	A1: 1/50 A3: 1/100
換気設備 R階平面詳細図			

設計年月 2025年 2月



換気設備 R階平面詳細図
A1: S=1/50
A3: S=1/100

福山市上下水道局

令和6年度 下水道事業

工事名称

一ツ橋ポンプ場上家新築機械設備工事

工事場所

福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内

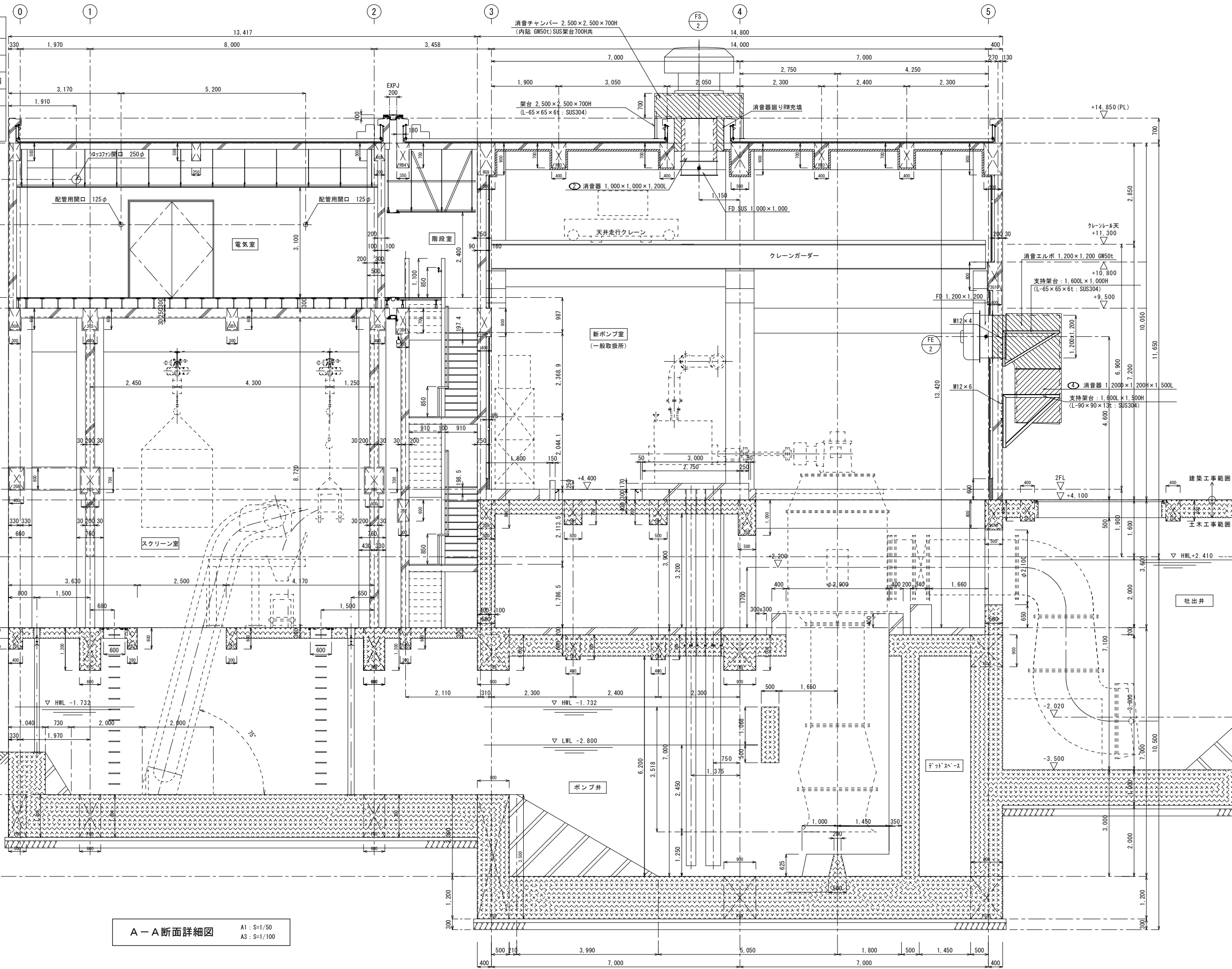
図面番号

AM-20/21 縮尺

A1:1/50
A3:1/100
(換気設備)

断面図 1 (新ポンプ室)

+14.150 SL(水下) 設計年月 2025年 2月



A-A断面詳細図 A1: S=1/50 A3: S=1/100

福山市上下水道局

令和6年度 下水道事業

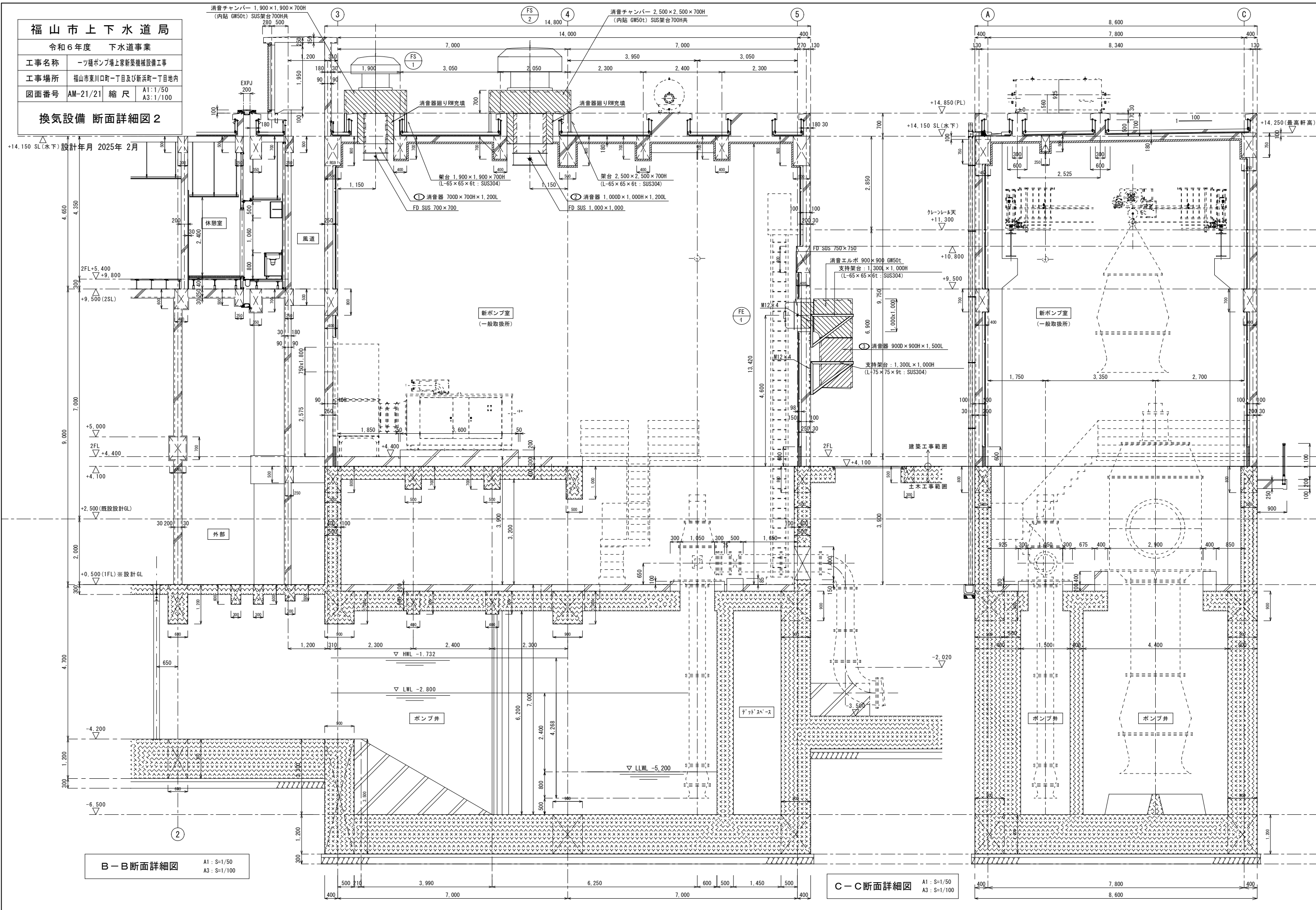
工事名称	ーツ樋ポンプ場上家新築機械設備工事
------	-------------------

工事場所	福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内
------	----------------------

図面番号	AM-21/21	縮 尺	A1:1/50 A3:1/100
------	----------	-----	---------------------

換気設備 断面詳細図 2

+14,150 SL(水下)設計年月 2025年 2月



参考数量書

§ 工事名称 一ツ樋ポンプ場上家新築機械設備工事

§ 工事場所 福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款 1 条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

※ 「建築設備数量積算基準・同解説」 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

工事名称 一ツ樋ポンプ場上家新築機械設備工事

工事場所 福山市東川口町一丁目及び新浜町一丁目地内

【工事概要】

- ・ 建築機械設備工事 一式
- 空気調和設備工事
- 給排水衛生設備工事

【別途関連工事】

- 建築工事
- 建築電気設備工事

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

給排水衛生設備工事

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

空気調和設備工事		換気設備工事（新ポンプ室）		機器設備工事		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
FE-1 有圧扇（排気用）	φ750 風量10,000m ³ /h, 機外静圧50pa 付属品 防護ネット 材工共	1	機新 台			
FE-2 有圧扇（排気用）	φ1200 風量35,000m ³ /h, 機外静圧40pa 付属品 防護ネット 材工共	1	機新 台			
FS-1 屋上換気扇（給気用）	φ750 風量15,000m ³ /h, 機外静圧70pa 付属品 吸込み防止ドレン 材工共	1	機新 台			
FS-2 屋上換気扇（給気用）	φ1050 風量30,000m ³ /h, 機外静圧70pa 付属品 吸込み防止ドレン 材工共	2	機新 台			
① 消音器（FS-1用）	700×700×1200L, GW貼 ステンレス外装 付属品 ロックウール充填 材工共	1	機新 台			
② 消音器（FS-2用）	1000×1000×1200L, GW貼 ステンレス外装 付属品 ロックウール充填 材工共	2	機新 台			
③ 消音器（FE-1用）	900×900×1500L, GW貼 ステンレス外装 付属品 支持架台1300×1000H 材工共	1	機新 台			
④ 消音器（FE-2用）	1200×1200×1500L, GW貼 ステンレス外装 付属品 支持架台1600×1500H 材工共	1	機新 台			
消音チャンバー(F S-1用)	1900×1900×700H, GW貼 ステンレス外装 付属品 架台1900×1900×700H 材工共	1	機新 個			
消音チャンバー(F S-2用)	2500×2500×700H, GW貼 ステンレス外装 付属品 架台2500×2500×700H 材工共	2	機新 個			

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

空気調和設備工事		冷暖房設備工事		配管工事		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
冷媒配管	冷暖房設備	1	式			別紙 00-0015
冷媒用 断熱材被覆銅管	9.52外径(3/8B) 液管 厚10mm以上	68	m			
冷媒用 断熱材被覆銅管	6.35外径(1/4B) 液管 厚10mm以上	9	m			
冷媒用 断熱材被覆銅管	15.88外径(5/8B) ガス管 厚20mm以上	68	m			
冷媒用 断熱材被覆銅管	9.52外径(3/8B) ガス管 厚20mm以上	9	m			
計						
トレン配管	冷暖房設備	1	式			別紙 00-0016
排水・硬質ポリ塩 化ビニル管 (カーVP)	屋内一般 20A	45	m			
排水・硬質ポリ塩 化ビニル管 (カーVP)	屋内一般 25A	16	m			
排水・硬質ポリ 塩化ビニル管 (VP)	屋内一般 20A	3	m			
トレンハーフ用逆止 弁	25A	3	個			
計						
保温工事	冷暖房設備	1	式			別紙 00-0017
保温化粧ケース (樹脂製)	100 × 70	74	m			
計						

[illegible]

空気調和設備工事		換気設備工事		ダクト工事		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ダクト工事	換気設備	1	式			別紙 00-0021
スパイラルダクト (低圧ダクト)	インサート有 100mm	4	m			
スパイラルダクト (低圧ダクト)	インサート有 150mm	5	m			
スパイラルダクト (低圧ダクト)	インサート有 200mm	16	m			
アングルフランジ 工法ダクト (低圧ダクト)	インサート有 0.5mm(～450mm)	1	m ²			
計						
付属品	換気設備	1	式			別紙 00-0022
SUS製深形フード	200φ防虫網付 塩害対策品	2	個			
SUS製深形フード	150φ防虫網付 塩害対策品	1	個			
SUS製深形フード	100φ防虫網付 塩害対策品	2	個			
フィルターユニット	プレフィルター+塩害対策中性能フィルター	1	個			
送風機用 たわみ継手	片吸込形 No.2 以下	2	組			
計						
保温工事	換気設備	1	式			別紙 00-0023
スパイラルダクト保温 (32K)	グラスウール 屋内隠ぺい,ダクトシャフト内 アルミガラスクロス 200mm 保温厚25	1	m			
長方形ダクト保温	グラスウール 屋内隠ぺい,ダクトシャフト内 アルミガラスクロス 保温厚25	1	m ²			
計						

[illegible]

[illegible]

給排水衛生設備工事		給水設備工事		給水 配管		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
保温工事	給水設備	1	式			別紙 00-0004
給水管 保温	ボ リスチレン 機械室, 書庫, 倉庫 アルミカ ースクロス 20A	4	m			
給水管 保温	ボ リスチレン 天井内, ハ イ ｼﾌﾄ内 アルミカ ースクロス 20A	1	m			
給水管 保温	ボ リスチレン 暗渠内 着色アルミカ ースクロス 20A	6	m			
給水管 保温	ボ リスチレン 屋外露出, 浴室 ステンレス銅板 20A	42	m			
計						
配管支持金物	給水設備	1	式			別紙 00-0005
配管支持金物	400×400×W50×t4.5 溶融亜鉛メッキ	24	個			
計						
土工事		1	式			別紙 00-0035
根切り(機械)	ハ ｯｸﾎﾝ 0.13m3 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型	1.36	m3			
埋戻し	機 械 ハ ｯｸﾎﾝ 0.13m3 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型	0.64	m3			
山砂		0.72	m3			
土工機械運搬 (ハ ｯｸﾎﾝ)	排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型0.13m3	1	往復			
計						

給排水衛生設備工事		排水・通気設備工事		排水 配管		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
配管	排水設備	1	式			別紙 00-0006
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	屋内一般 50A	11	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	屋内一般 75A	1	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	屋内一般 100A	16	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	屋外架空・暗渠 100A	21	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)	地中配管 100A	9	m			
配管分岐 (樹脂管類)・手間のみ	配管分岐 100A 保温無	1	か所			
計						
配管付属品	排水設備	1	式			別紙 00-0007
床上掃除口 (非防水形)	COA 100A	1	個			
床下掃除口	CO 100A	5	個			
計						
保温工事	排水設備	1	式			別紙 00-0008
排水管 保温	クラスワール 機械室, 書庫, 倉庫 アルミガラスクロス 50A	3	m			
計						

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible][illegible]

[illegible]